

2021年度

# 事業報告書

自 2021年4月 1日  
至 2022年3月31日



## 目 次

第1	概要	1
第2	事業の状況	2
1.	「科学振興のための研究助成と研究交流」事業	2
2.	「国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流」事業	6
3.	「科学知識の普及・啓発」事業	12
第3	会議等	18
第4	その他の重要事項	21

### 【別表】

(1)	2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）	23
(2)	2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）	34
(3)	2021年度海外発表促進助成助成対象者一覧表	35
(4)	2021年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表	36
(5)	2020年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表	37
(6)	2021年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表	38
(7)	2021年度 READ JAPAN プロジェクト図書寄贈実績表	39
(8)	2021年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表	41
(9)	役員名簿	42
(10)	評議員名簿	43

## 第1 概要

社会的課題の解決や経済再生の原動力として、科学技術とイノベーションの一体的な推進が求められている。科学・技術の振興には、研究投資や研究者の育成が必要とされるほか、広く一般市民の科学に対する関心の高まりが不可欠と言える。

また、中国等への図書の寄贈を通じた文化交流については、高まる日本関係図書への需要に応じる形で大学図書館への寄贈を継続しており、日中間の政治情勢に関わらず、着実な進展を見せている。

2021年度事業実施にあたっては、評議員、理事等のアドバイスを受けながら、ポートレウス公益資金による日本財団の助成金を受けて、以下の目的を達成することに努めた。

なお、2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「新型コロナウイルス」）の感染拡大の影響により、当初予定していた対面でのイベント等が中止・延期、もしくはオンラインでの開催となった。

1. 科学・技術に関する若手人材の育成、研究の全国的な掘り起こしを図るため、2021年度笹川科学研究助成は、321件の科学研究助成を行った。また、助成を受けた研究者の研究活動の展開を支援するため、その研究成果発表を支援し、学術成果の広範な浸透・普及を図った。

2. 日本で収集した日本関係図書33,191冊を中国の大学・研究機関に寄贈し、日本文化の理解促進を図るとともに、日中双方向の「作文コンクール」「日本研究論文コンクール」等を開催することにより、日中間の相互理解の促進と友好意識の醸成に寄与した。さらに、日本に関する多様な分野の厳選された英文図書5,625冊を35ヶ国・地域の大学図書館等に寄贈し、世界の広範な地域における日本理解の促進を図った。

3. 経験豊かな専門家による中学生・高校生への研究指導（メンター）や、研究者としての素養を育てるセミナーの実施等により、科学・技術を担う人材の育成に努めるとともに、科学実験のデータベースや、本会が独自に作成した教材をもとにしたWebコンテンツの公開等により、科学知識の普及・啓発に努めた。

## 第2 事業の状況

### 1. 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業

【事業経費：206,043,718円（間接経費を除く）】

本事業の1)～5)については、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、6)については、自己財源による自主事業として実施した。

#### (1) 内 容

##### 1) 若手研究者の研究奨励（学術研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域：人文・社会科学および自然科学（医学を除く）
- ③ 助成件数：304件 ※研究中止7件を含む

[別表(1) 2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）]

- ④ 助成金額：182,047,324円（1件当たり平均金額612,954円）
- ⑤ 申請資格：大学院生あるいは大学等の所属機関で非常勤・任期付き雇用研究者であって、35歳以下の者。但し、『海に関係する研究』は重点テーマとして支援し、雇用形態は問わない。

##### 2) 特定分野の研究奨励（実践研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域：
  - a. 教員・NPO職員等が行う問題解決型研究  
学校、NPOなどに所属している方が、その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究
  - b. 学芸員・司書等が行う調査・研究  
学芸員・司書等が生涯学習施設の活性化に資する調査・研究
- ③ 助成件数：17件

[別表(2) 2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）]

- ④ 助成金額：5,557,042円（1件当たり平均金額326,885円）
- ⑤ 申請資格：専門的立場にある者（教員、学芸員、図書館司書、カウンセラー、指導員等）あるいは問題解決に取り組んでいる当事者など

2021年度  
笹川科学研究助成募集  
申請期間  
2020年9月15日(火)～10月15日(木) 23:59

Webからの応募となります。詳しくは本会Webサイトにて「募集要項」を申請マニュアルとご確認ください。

公益財団法人 日本科学協会 笹川科学研究助成  
URL: <https://www.jss.or.jp> E-mail: [josei@jss.or.jp](mailto:josei@jss.or.jp)  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階 TEL: 03-6228-5365 FAX: 03-6228-5369

	対象領域	助成件数
学術研究	人文・社会系	32件
	数物・工学系	38件
	化学系	42件
	生物系	150件
	複合系	42件
実践研究	教員・NPO職員等	10件
	学芸員・司書等	7件
合 計		321件

### 3) 研究成果公表支援（海外発表助成）

#### ① 2021年度海外発表促進助成

- a. 申請資格：笹川科学研究助成を受けた者
- b. 助成件数：14件 ※辞退2件を含む
- c. 助成金額：408,799円（1件当たり平均金額34,067円）

[別表(3) 2021年度海外発表促進助成助成対象者一覧表]

#### ② 2022年度海外発表促進助成の募集案内および第1期助成計画策定

#### ③ 報告書の作成（創設20周年）

海外発表促進助成制度創設20年を迎え、笹川会長と高橋会長が対談を通して研究者へ激励のメッセージを送り、これまでの軌跡や実績等を整理し、本助成制度の特徴や社会で果たしてきた役割（社会貢献）、今後の発展の方向について解説し、過去助成者の情報や体験談等を取りまとめ、報告書を作成した。

### 4) 「笹川科学研究奨励賞」の選出及び授与

#### ① 「笹川科学研究奨励賞」の選出

2021年度笹川科学研究助成者の中から、笹川科学研究助成選考委員会で、16名（研究領域ごとに2名ずつ。ただし、生物系は4名）を選出した。選考に当たっては単に研究の内容や成果だけに捉われず、研究に対する取組み姿勢なども評価した。

[別表(4) 2021年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表]

#### ② 「笹川科学研究奨励賞」の表彰及び研究発表

2020年度に選出された16名に対して、笹川科学研究奨励賞を授与し、賞状及び副賞（100,000円）を贈呈した。また、受賞者の研究発表動画を作成し、Webサイトで公開した。

[別表(5) 2020年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表]

## 5) 研究助成の推進

### ① 2022 年度笹川科学研究助成計画原案の作成

#### a. 募集計画策定等

募集要項の作成および選考方針については、笹川科学研究助成事業委員会において、また、選考基準や選考細則については、笹川科学研究助成領域別選考委員会の議を得て策定した。各系の中から「海に関係する研究」を重点テーマとして拾い上げる事で、より広い意味での海洋関連科学への助成を行うこととした。

#### b. 公募

大学、研究機関、学会、博物館、図書館等約 700 箇所、また過去に笹川科学研究助成を受けた者やその関係者約 6,200 名に募集のためのメール配信を行った。さらに募集ポスターを作成し、大学約 800 箇所に対して送付するなど、広く周知した。

・ 募集期間：2021 年 9 月 15 日～2021 年 10 月 15 日

・ 応募件数：1,133 件の研究計画の申請を受付した。

(学術研究 1,063 件、実践研究 70 件)

#### c. 助成計画原案の作成

笹川科学研究助成領域別選考委員会での審査選考を経て、2022 年度笹川科学研究助成計画原案を作成した。

### ② 2020 年度笹川科学研究助成の研究報告書の整備

### ③ 研究助成実績資料の整備

## 6) 研究成果発表会の開催

過去助成者と企業の連携強化のために、継続的なフォローアップの充実を目指し、海洋分野に関する事柄をテーマに研究成果の発表を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止した。

## (2) 事業成果等

笹川科学研究助成では、他から研究助成が受け難い若手中心の優れた研究者に助成することで、若手研究者の育成を図っている。自然科学のみならず、人文・社会学の研究も対象とし、特に基礎的な学術分野において、新規性、独創性、萌芽性のある研究を奨励し、研究への意欲を盛り上げることで、外国人留学生も含めた若手研究者の育成に貢献しているものである。実践研究では、特定分野の研究の成果を実践の場に活かすとともに、実践の場を通して広くその分野の活性化・発展につながることを期待できる。

本助成については、前年度の助成者の中から研究内容や成果、研究への取り組み姿勢などにおいて高く評価された者が笹川科学研究奨励賞に選ばれ、毎年4月に表彰と研究発表会を行っているが、昨今の新型コロナウイルスの影響により開催することができなかった。そのため、研究発表動画を作成しWebサイトで公開したところ、現在まで600回以上再生され、非常に好評を得ており、本助成への関心の高さが窺えた。

募集については、従来のメール配信において、配信先に過去助成者の研究・経費支出確認者約1,200人や、会員数1,000人以上の学会約100件を追加し、さらに大学800箇所に対してはポスターを送付するなど、これまで以上に広く周知したところ、コロナ禍であるにもかかわらず、申請件数が前年度に比べ100件増加した。またWeb申請を開始して5年目となり、申請者及び推薦者側の利便性の向上として、入力ミスが減るように操作方法を改良し、提出前に内容の再確認を行えるようにする等改善を行い、選考委員向けには速やかに審査を行えるように操作方法の改善等を行った。

海外発表促進助成では、過去に研究助成を受けた研究者の研究活動を国際的に広めることを促し、その成果を社会に普及させるため、研究発表を支援するものであり、学術成果の広範な浸透及び普及の促進に貢献しているものとする。本年度は、新型コロナウイルスの影響により海外研究集会の現地開催が軒並み中止や延期となり、新しい学会の形としてオンライン学会が多く開催され、12件助成することができた。

また、本助成制度が創設20年を迎えたのを契機として、これまで果たしてきた役割を整理し、社会的必要性を検証するため、報告書を作成した。本報告書は、制度の軌跡や実績のみならず、笹川会長と高橋会長が対談を通して研究者へ激励のメッセージを送り、日本における科学研究の動向が読み取れる貴重な情報が記載されているため、広報・宣伝用のほか、今後の研究助成事業の指針として活用する予定である。報告書は印刷物だけでなく、Webサイトに電子ファイルのアップロードも行い、対談の様子を動画として公開することで、多くの方に読んでいただけるよう工夫を行っている。



## 2. 「国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流」事業

【事業経費：98,890,378円（間接経費を除く）】

本事業の1)①～③、2)については、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、1)④については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

### (1) 内 容

#### 1) 日中未来共創プロジェクト

##### ① 図書の収集・寄贈

国際理解の深化と友好親善の増進に貢献することを目的に、日本国内において出版社、図書館、企業、大学、個人等への提供依頼を経て図書を収集し、寄贈先の教育・研究分野、地域性、蔵書内容等を考慮のうえ各大学等の要望に基づき寄贈図書を選定後、中国の各大学・研究機関へ図書を寄贈した。また、図書寄贈に対する中国側の要望に応じて、3大学を寄贈対象に順次追加した。

- a. 図書収集：約41,000冊（提供件数：延べ102件）
- b. 図書寄贈：33,191冊（寄贈大学数：38大学等）
- c. 寄贈対象への追加大学：石家庄学院、江西财经大学、浙大宁波理工学院

[別表(6) 2021年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表]

##### ② 笹川杯全国大学日本知識大会

2021年秋に開催予定であった本大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止するとともに、これに係る日本招聘[対象者:40名(2019年度大会の成績優秀者等を含む)]も中止した。

なお、日本招聘対象者のうち2019年度大会の上位入賞者延べ15名に対しては、日本に関する学習・研究の促進に繋がると期待できるタブレットを受賞のインセンティブとして授与(賞品購入、配送等の業務については、人民中国雑誌社と委託契約)した。

##### ③ 作文コンクール

###### a. 笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール(中国語版、日本語版)

中国の若者の日本に対する関心の喚起と理解の深化、日本に関する図書の読書促進を目的として、中国全国の大学生等を対象に、日本に関する図書の感想文コンクールを中日両語で開催した。

また、本コンクールの一等賞受賞者等合計29名(2019年度、2020年度コンクールの一等賞受賞者を含む)を対象とした合同日本招聘については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することとし、日本招聘対象者のうち一等

賞受賞者 26 名には受賞のインセンティブとしてタブレットを授与（賞品購入、配送等の業務については、人民中国雑誌社と委託契約）した。

a) 中国語版

- 共催機関：上海交通大学図書館
- 対象：中国全国の大学生、大学院生
- 応募総数：450 点（38 大学図書館）
- 審査結果：一等賞 5 点（日本招聘）、二等賞 10 点、最高組織賞 6 大学図書館

b) 日本語版

- 共催機関：人民中国雑誌社
- 対象：16 歳～35 歳の中国人
- 応募総数：2,181 点
- 審査結果：一等賞 4 点（副賞：日本招聘）、二等賞 8 点、三等賞 30 点、優秀賞 40 点

b. Panda 杯全日本青年作文コンクール

日本の若者の中国に対する関心喚起と理解促進を目的として、“中国”をテーマに日本語で応募する作文コンクールを開催した。

また、中国訪問プログラム（訪中者 49 名）については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、2022 年度の中国訪問プログラムと合わせて実施することとした。

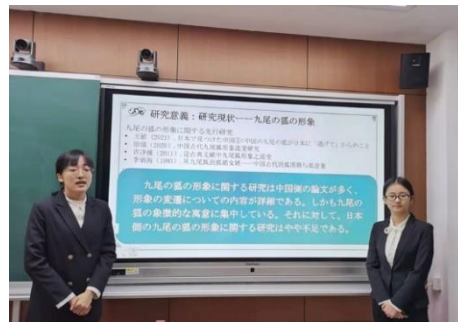
- a) 共催機関：人民中国雑誌社、中国大使館
- b) テーマ：「@Japan わたしと中国」
- c) 対象：16 歳～35 歳の日本人
- d) 応募総数：400 点
- e) 審査結果：優秀賞 10 点、入選 10 点、佳作 35 点
- f) 授賞式：オンラインで開催
  - 期 日：2021 年 11 月 23 日（火）
  - 参加者：受賞者等 約 100 名



#### ④ 笹川杯日本研究論文コンクール

中国の大学における日本研究の促進と日本語教育の振興を目的に、日本に関する研究論文コンクールを開催した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、決勝戦については、オンラインで実施した。

なお、本コンクールの特等賞受賞者合計8名(2019年度、2020年度コンクールの特等賞受賞者を含む)を対象とした日本招聘については、中止するとともに、招聘対象者に受賞のインセンティブとしてタブレットを授与(賞品購入、配送等の業務については、人民中国雑誌社と委託契約)した。



##### a. 共催機関：

中国教育部大学日本語専攻教学指導分科委員会、中国日語教学研究会、吉林大学

##### b. 対 象：中国全国の大学の日本語専攻学生

##### c. 応募総数：243 編

##### d. 決 勝 戦：

- 期 日 2022年1月16日(日)
- 参加者 一次審査通過者43名/30編
- 概 要 プレゼンテーション及び口頭試問

##### e. 審査結果：

特等賞3編、一等賞3編、二等賞9編、三等賞15編、優秀賞71編

## 2) READ JAPAN プロジェクト

日本に関する多様な分野の厳選された英文図書を、世界の大学図書館、研究所等へ寄贈するとともに、寄贈対象図書の梗概等をWebサイト、SNS等で公開することにより、世界の広範な地域における日本理解の促進を図った。

### ① 図書寄贈

厳選した195冊の日本に関する英文図書について、Webサイト等で梗概等を公開するとともに、在外公館からの推薦、各大学図書館等からの申請を経て決定した寄贈機関に対し要望に応じて寄贈した。

#### a. 寄贈対象：大学図書館等64機関(35ヶ国・地域)

#### b. 寄贈図書の分野：5分野(政治・国際関係、経済・ビジネス、社会・文化、文学・芸術、歴史)

#### c. 寄贈数量：合計5,625冊

[別表(7) 2021年度READ JAPANプロジェクト図書寄贈実績表]

## ② Webサイト等を通じた情報発信

195 冊の寄贈対象図書に関する情報を中心として日本理解の促進に資する広範な情報を、Webサイト、SNS等を通じて発信した。

### a. Webサイト：

195 冊の寄贈対象図書の画像付き梗概 (Synopsis)を常時公開するとともに、既寄贈先の大学学長や在外公館関係者に対する企画インタビューをオンラインでそれぞれ開催し、聴取した声や撮影した動画を英文記事4本に取り纏めて公開した。

### b. SNS：

3メディア (Facebook、Twitter、Instagram)を新規立ち上げるとともに、各メディアの特長を活かし、それぞれ寄贈図書情報 (Synopsis)、図書寄贈式等に関する情報326本 (Facebook：112本、Twitter：112本、Instagram：102本)をタイムリーに発信した。

## (2) 事業成果等

### 1) 日中未来共創プロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大は、図書の収集・寄贈冊数の減少、中国での現地調査の中止等、様々なマイナス影響を図書寄贈事業に及ぼしたが、寄贈対象大学の追加に係る調査については、候補3大学の各責任者、図書館館長、日本語教員・専攻学生へのヒアリング等をオンラインで実施することにより、日本関係資料の所蔵状況、ニーズ、活用可能性等を把握し、当該大学の寄贈対象追加の妥当性を確認することができた。

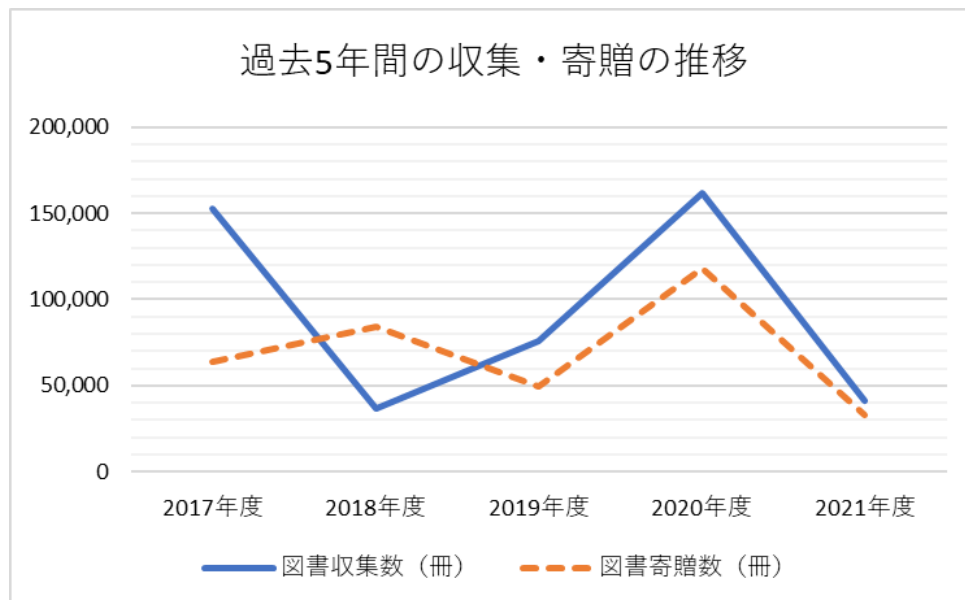
これらの大学は何れも日本関係図書が不足[1大学は、日本関係蔵書合計79冊(日本で出版23冊)]しており、日本関係資料の充実が日本語教育上の最も大きな課題の1つとなっていたが、寄贈対象への追加は、日本語教育の振興のみならず日本理解の促進、図書寄贈のすそ野の拡張に繋がったと期待できる。

また、新型コロナウイルスの影響により、中国の大学の学内活動が制限される中、寄贈図書や本会の日中交流事業が各大学図書館のSNSや館内イベントを通じて紹介されたことは、寄贈図書の活用促進と日本に対する関心喚起に繋がったと期待できる。

さらに、中国の大学は、寄贈図書の受領にあたって、中国国内経費(内容審査、配送料等)として7元/冊(約120円)を負担している。本年度寄贈の33,191冊には約232,337元(約4,650,000円)の中国国内経費が発生し、これを中国の各大学が受領冊数に応じて分担しているが、このことは寄贈図書に対する中国側のニーズと評価の高さを裏付けるものと考えられる。

ゼロコロナを進める中国においては、本年度も大学の休学、オンライン授業などコロナによる影響を受け、学内活動のみならず国際交流活動が厳しく制限されてい

たが、日本語学習者にとっても、非日本語学習者にとっても、「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」への応募は、図書を通して日本のこと、或いは、日本と中国との関係を改めて考える機会となったと期待できる。



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日中両国における様々な国際交流イベントや国内外の出張等、人的交流や人の移動等がほぼ不可能となったが、「Panda杯全日本青年作文コンクール」授賞式、「笹川杯日本研究論文コンクール」決勝戦等については、オンラインで実施した。これらのオンライン交流は、コロナ禍にあって人的交流の意義を参加者相互が共有できる機会となったが、同時に対面交流の重要性を再認識させられる機会でもあった。

広報面では、「笹川杯日本研究論文コンクール」の決勝戦等の動画を人民網で配信したが、これまでのアクセス数は約 58,000 に達するなど大きな反響を得た。この動画は、中国の大学の日本語学部の学生や教師にとって、日本に関する研究論文のプレゼンや質疑応答を実践する際の模範となるものであり、中国の日本語教育の発展に繋がるものと期待できる。

本プロジェクトは、広範な機関や個人に対し社会貢献の一環としてプロジェクトへの支援を依頼してきたが、日本では1個人より100,000円の寄附金提供、講談社から新刊図書11,250冊(定価総額9,487,755円)の提供を得た他、中国では1企業から「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」(中国語版)開催に係る協賛金として20,000元(約360,000円)を獲得した。

## 2) READ JAPAN プロジェクト

現在、日本理解促進を目的として実施している図書寄贈事業の多くは、本会の中

国への図書寄贈と同様、日本語学習者を対象とした日本語図書の寄贈で、世界共通語（英語）の図書の寄贈は殆ど実施されておらず、非日本語学習者へのアプローチは十分ではない状況である。こうした中、本プロジェクトにおいては、日本に関する厳選された英文図書を各国・地域の大学図書館等の要望に応じて寄贈することにより、世界の各寄贈先における日本関係資料の充実と広範な人々の日本理解促進に寄与することができたと期待できる。

また、本プロジェクトの図書寄贈事業については、図書寄贈先の推薦、寄贈先との調整、図書寄贈式の実施及びこれに係る各在外公館公式サイトを通じた情報発信等、各在外公館から多面的な協力を得て実施したものであるが、各在外公館にとって、本プロジェクトに関わることは、効果的な日本理解促進活動の実践であり、当該国と日本との文化交流を現地の人々に直接アピールできる貴重な機会になったと期待できる。

さらに、本プロジェクトによる寄贈図書の既受贈大学責任者や在外公館関係者など各国の関係者からプロジェクトに対する意見・要望・期待等をオンラインで聴取するとともに、それぞれの声をWebサイト、SNS等で発信したことは、本プロジェクトに対する関心喚起と理解促進に繋がったと期待できる。

本会の本プロジェクトの実施は、2021年12月を以て終了したが、それまでに構築した各寄贈先、関係在外公館との協力関係は、本事業の移管先である東京財団政策研究所が実施する次回の図書寄贈の円滑な推進に寄与するものと期待できる。

### 3. 「科学知識の普及・啓発」事業

【事業経費：18,867,226円（間接経費を除く）】

本事業の1)～4)については、モーターボート競走法制定40周年記念事業として、5)6)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

#### (1) 内 容

##### 1) 科学実験データベースの公開

広く知られている伝承的な実験から最近開発されたユニークな実験まで様々な科学実験事例を収集網羅し、これに実験内容や方法のほか、分野、対象年齢、難易度などの検索項目を設けたデータベースをWebサイト上で広く公開した。また、新型コロナウイルスの影響により家にいることが多くなった子供たちが、家でできる実験を集めた「コロナに負けるな！お家実験」というコーナーを昨年に引き続き公開した。



① 委 託 先：兵庫教育大学原体験教育研究会

② 公開内容：

Webサイト上で、原体験コラム 315 点、科学実験データベース 754 点を公開

a. 新規データの追加：

原体験コラムに 24 点、科学実験データベースに 24 点を追加した。

b. 動画の追加：

分かりやすく安全に実験を行えるように、動画を追加した。

##### 2) 地球科学の理解促進

本会で制作した短編映像「Cubic Earthーもしも地球が立方体だったらー」を題材とした気象に関する科学体験講座を港区立みなと科学館にて開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を見合わせた。

### 3) 中高生のためのサイエンスメンタープログラム

科学に高い関心を持つ中学生・高校生に対し、学校教育の枠にとらわれずに、専門研究者による科学研究の基礎指導を実施した。

また、広く科学研究の基礎の定着を図るため、メンティと中高生・教員の希望者を対象に、統計及び研究倫理の講習を実施した。

- ① 研究指導数：17 研究（うち 7 研究は 2022 年度も指導を継続する。）
- ② 指導方法：メールを主とし、必要に応じて Zoom や実地での対面指導を実施する。
- ③ 期 間：2021 年 4 月～2022 年 3 月
- ④ サイエンスメンタープログラム研究発表会：
  - a. 第 11 回サイエンスメンタープログラム研究発表会
    - 開催日：2021 年 8 月 22 日
    - 内 容：メンティによる 9 件の研究発表をオンラインで行った。また、当該研究発表において、本プログラムの成果が顕著に認められた 1 件の研究を特別賞として選出した。
  - b. 第 12 回サイエンスメンタープログラム研究発表会
    - 開催日：2022 年 3 月 27 日
    - 内 容：メンティによる 5 件の研究発表をオンラインで行った。また、当該研究発表において、本プログラムの成果が特に顕著に認められた 1 件の研究を優秀賞として選出した。
- ⑤ その他：
  - a. 統計講習
    - a) 科学研究体験ワークショップ
      - 講 師：陣内修氏（東京工業大学教授）
      - 開催日：①2021 年 8 月 7 日、8 月 8 日 ②2022 年 3 月 13 日、3 月 26 日
      - 参加者：①中高生 34 名、高校教諭等 13 名 ②中高生 30 名、高校教諭 5 名
      - 内 容：全国各地の参加者が、測定機器を自作して温・湿度を測定し、統計解析を行った。  
なお、本講習はオンラインで実施した。
    - b) データ集録・解析ワークショップ
      - 講 師：野口尚史氏（同志社大学准教授）
      - 開催日：2021 年 11 月 7 日、11 月 14 日
      - 参加者：中高生等 42 名、高校教諭 5 名
      - 内 容：全国各地の参加者が、磁場・加速度・画像などの複数のプロジェクト毎にデータを集録し、統計解析を行った。  
なお、本講習は、独立行政法人国立青少年教育機構「子どもゆめ基金」（以下、「子どもゆめ基金」）の助成を受けて、オンラインで実施した。



#### b. 研究倫理の講習

- 講師：村本哲哉氏（東邦大学准教授）
- 開催日：2021年8月22日、2022年3月27日
- 参加者：3名（2021年8月22日）、5名（2022年3月27日）
- 内容：サイエンスメンタープログラム研究発表会の同日に、科学研究を進める上で必要な研究倫理について考える機会を提供した。

[別表（8）2021年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表]

#### 4) 「Web版科学体験まつり」の開催

子供たちや親世代への科学実験の機会を容易にするため、1992年から2003年まで対面で行っていた「青少年の科学体験まつり」を基に、オンライン上に「Web版科学体験まつり」を作成し、広く公開を行った。過去に人気のあった実験だけでなく、新規の実験なども開発し、動画を用いて説明することで対面での指導と同じように分かりやすく解説し、さらに安全面の注意喚起や難易度の表示をすることで、誰でも安全に実験ができるように工夫を行った。



実験材料などについては、利用者自身で用意する必要があるため、100円ショップなどでも購入できる、身近なものを用いた実験が中心となっている。

- ① 内容：Webサイト上で、実験ブース25点を公開。
- ② 委託先：兵庫教育大学原体験教育研究会

#### 5) 生命科学テキスト「人間の生命科学」プロジェクト

生命科学に関する基礎知識を授けるため、従来の教科書とは異なる発想で「生物としての人間」を軸にした生命科学の副読本（以下、本テキスト）を制作し生命科学の基礎知識の普及活動を推進した。

##### ① Web版の授業等の利用状況

大学19件（809名）、高等学校11件（27名）、専門学校等2件（52名）

##### ② 一般向けの新規コンテンツの開発・公開：

国立情報学研究所との共同研究により、本テキストの充実した内容を、テーマやトピックごとに「カード」で把握できるコンテンツとして、新たに「クルーズ版」を開発し、本会のWebサイトに公開した。今年度は95名の登録、利用があった。

## 6) 科学隣接領域の研究

自然科学の枠を超えた領域の専門家が集まり、宗教、倫理、芸術を切り口に科学研究や研究者について議論と考察を重ね、若手研究者の育成について討議した。そのアウトプットとして、セミナー・出版を行い、自身の専門分野の研究のみならず、総合的な視野を持った「創造的な研究者」への育成を目指した。2021年度は、「科学と芸術」セミナーの開催と『科学と芸術』出版を行った。

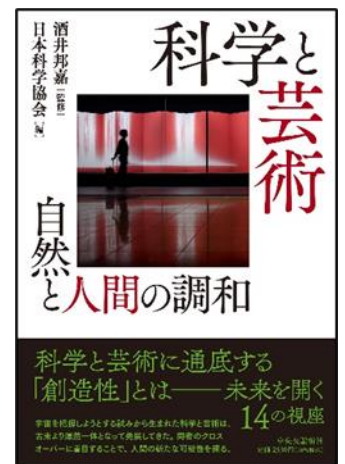
### ① 「科学と芸術の交響、時空を超える対話」セミナー開催

- a. 開催日時：2021年9月3日 18:00~20:30
- b. 場所：日本財団ビル2階大会議室+Web配信  
※新型コロナウイルス感染拡大に伴いハイブリッド開催となった。
- c. 参加者数：355名（内訳：現地8名、Web347名）
- d. 参加者：研究者、学生、その他社会人等

### ② 『科学と芸術 自然と人間の調和』出版

- a. 刊行日：2022年2月25日刊行
- b. 出版社：中央公論新社
- c. 執筆者：15名
- d. 発行部数：2,500部

※近年の笹川科学研究助成者に希望を募り約250名に配布



## (2) 事業成果等

「科学実験データベースの公開」では、Webサイトに20万回を超えるアクセスがあった。また、明治図書出版『365日の全授業小学校理科6年』に掲載され、学習館やボランティア実験教室などで利用したいという問い合わせがあるなど、これまでのデータの蓄積により、多くの方に利用された。また、離島で行う科学実験イベント（移動式暗室による光の実験及び講義）は、「子どもゆめ基金」に採択されるなど、事業内容は好評であったが、今年度も新型コロナウイルスの影響により実施することができず、中止となった。

「地球科学の理解促進」では、本会が作成した「立方体地球-もしも地球が立方体だったら-」を使った科学体験講座を行い、小中学生へ地球科学に対する興味関心を喚起する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、実施を見合わせた。

「中高生のためのサイエンスメンタープログラム」では、資質の高い中学生・高校生が、大学教授などの専門研究者から、一定の期間中科学研究の進め方を学ぶことで、より一層研究に打ち込むようになる、もしくは、早い段階から将来の目標を明確にするなど、生徒には多大な影響を及ぼしている。過去のメンティの中には、推薦入試で研究能力を評価されて大学に進学する者もあり、学業の成績が優秀なだけではない質の高い人材の育成に寄与している。顕著な例では、2021年度のメンティが、水素ガス製造の研究を高校生科学技術チャレンジ（JSEC2021）に応募して高い評価を受け、アメリカで行われる国際学生科学技術フェア（RegeneronISEF）の日本代表に選出された。

また、メンティの他に、科学研究を行っている中学生・高校生・学校教員などを対象として、統計学・研究倫理の講習を実施し、科学研究の基礎的な素養を身に着ける機会を提供した。

「Web版科学体験まつりの開催」では、Webサイトに約3千回のアクセスがあった。公開後間もないことや実験ブース数が少ないこともあり、アクセス数は伸び悩んでいるが、コロナ禍でのオンライン科学実験教室への社会的ニーズは高まっており、神戸新聞に掲載されるなど注目されている。

「生命科学テキスト『人間の生命科学』プロジェクト」では、新型コロナウイルスの感染拡大のため、面談等による普及活動が制限されていたが、本年も32の大学等の講義で利用され、888名の学生の利用登録があった。利用教員数はやや減少（昨年度：36件）し、生徒・学生数の登録者もやや減少したが、（昨年度：1,170件）、昨年度に引き続きコロナ禍における自習教材・オンライン授業の副教材として利用された。

また、新規に公開した一般向けコンテンツの「クルーズ版」においては、95名の利用登録があり、「博物館を見るようで楽しい」等のコメントをいただいた。

「科学隣接領域の研究」事業では、セミナーの開催と出版を行った。

セミナーはオンライン開催により、遠方や時間に制約のある方にも参加いただくことができた。参加した研究者からは、「専門分野以外の視野を持つ重要性を感じた」等の感想を多くいただき、視野を広げる一助となったと考えられる。出版は、研究会とセミナーの講演者、さらに巻頭対談を加え 14 の視座で書かれ、若手研究者の読者獲得のため、笹川科学研究助成助成者に希望を募り配布した。

本事業は、当初の予定通り「科学と宗教」「科学と倫理」「科学と芸術」という 3 つのテーマについて、研究会・セミナー・出版が完了し、今年度を以て終了とする。理系研究の専門化・細分化の傾向がすすみ、若手研究者たちのグローバルな視野と深い教養への鍛錬が一層求められてきた世の中で、総合的視野への気づきとなる哲学的 3 テーマの発信を行い、若手研究者の人材育成に寄与した。

### 第3 会議等

#### (1) 理事会

##### 1) 第29回理事会

① 開催年月日：2021年5月31日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2020年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件  
全会一致で可決
- b. 第2号議案 第11回評議員会の開催に関する件  
全会一致で可決

##### 2) 第30回理事会

① 開催年月日：2022年3月16日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2021年度事業計画及び収支予算の変更に関する件  
全会一致で可決
- b. 第2号議案 公益目的事業の内容の変更に関する件  
全会一致で可決
- c. 第3号議案 2022年度事業計画及び収支予算の承認に関する件  
全会一致で承認
- d. 第4号議案 経理規程の一部改正に関する件  
全会一致で可決
- e. 第5号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正に関する件  
全会一致で可決

なお、役員の名簿については〔別表（9）役員名簿〕のとおり。

#### (2) 評議員会

##### 1) 第11回評議員会

① 開催年月日：2021年6月15日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2020年度決算報告書の承認に関する件  
全会一致で承認

なお、評議員の名簿については〔別表（10）評議員名簿〕のとおり。

(3) 各種委員会

1) 笹川科学研究助成事業委員会

開催年月日	議事事項
(第74回) 2021年8月4日	2022年度笹川科学研究助成募集要項等の策定について
(第75回) 2021年11月15日	2022年度笹川科学研究助成選考方針の策定について
(第76回) 2022年3月11日	1 2022年度笹川科学研究助成の選考結果について 2 2022年度海外発表促進助成の募集について

※いずれもオンラインにて開催した。

2) 笹川科学研究助成領域別選考委員会

領域	開催年月日	議事事項
数物・工学系	2021年11月25日	2022年度笹川科学研究助成の選考細則の策定について
化学系	2021年12月2日	
生物(A)系	2021年12月10日	
生物(B)系	2021年12月8日	
複合系	2021年11月29日	
海洋関連研究	2021年12月1日	
実践系	2021年12月7日	
人文・社会系	2022年1月26日	2022年度笹川科学研究助成の申請課題の選考について
実践系	2022年1月19日	
人文・社会系	2022年3月24日	2021年度笹川科学研究助成に係る完了報告書の評価及び笹川科学研究奨励賞の選出について
数物・工学系	2022年3月24日	
化学系	2022年3月23日	
生物(A)系	2022年3月17日	
生物(B)系	2022年3月25日	
複合系	2022年3月28日	
海洋関連研究	2022年3月22日	
実践系	2022年3月22日	

※いずれもオンラインにて開催した。

3) サイエンスメンター事業委員会

開催年月日	議事事項
(第9回) 2021年12月13日	2022年度サイエンスメンタープログラムの募集及び選考について

※オンラインにて開催した。

#### 第4 その他の重要事項

##### (1) 内閣府

年月日	内 容
2021年6月16日	公益目的事業の内容の変更について認定された。
2021年6月24日	2020年度における事業報告等の提出を行った。
2022年3月29日	2021年度における事業計画書等の提出を行った。
”	公益目的事業の内容の変更に係る変更認定申請書を提出した。

##### (2) 日本財団

年月日	内 容
2021年4月1日	2021年度事業の助成契約を締結した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（公益）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（海洋）</li> <li>・READ JAPAN PROJECT（公益）</li> <li>・READ JAPAN PROJECT（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2021年4月15日	2019年度事業（延長事業）の完了報告書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中未来共創プロジェクト（公益）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（海洋）</li> </ul>
”	2020年度事業の完了報告書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（公益）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2021年5月18日	2020年度笹川科学活性化基金に係る報告を行った。
2021年6月10日	2021年度事業の一部中止の承認申請書を提出した。 （2021年7月1日 承諾通知を受領） <ul style="list-style-type: none"> <li>・READ JAPAN PROJECT（公益）</li> <li>・READ JAPAN PROJECT（海洋）</li> </ul>



年月日	内 容
2021年9月17日	2021年度事業の事業期間の延長に伴う事業変更届を提出した。(2021年10月1日 変更了承通知を受理) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ READ JAPAN PROJECT (公益)</li> <li>・ READ JAPAN PROJECT (海洋)</li> </ul>
2021年10月26日	2022年度事業実施のため、助成金交付申請を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学振興のための研究助成と研究交流 (公益)</li> <li>・ 科学振興のための研究助成と研究交流 (海洋)</li> <li>・ 日中未来共創プロジェクト (公益)</li> <li>・ 日中未来共創プロジェクト (海洋)</li> <li>・ 基盤整備 (公益)</li> <li>・ 基盤整備 (海洋)</li> </ul>
2022年1月19日	2021年度事業の完了報告書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ READ JAPAN PROJECT (公益)</li> <li>・ READ JAPAN PROJECT (海洋)</li> </ul>

### (3) その他

年月日	内 容
2021年4月1日	「2021年度子どもゆめ基金」から、次のイベントの助成金交付決定の通知を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な天気サイエンス実験体験</li> <li>・ 離島で行うサイエンスキャンプ</li> </ul>
2021年6月24日	「2021年度子どもゆめ基金」に、次のイベントの助成申請をした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データ集録・解析ワークショップ</li> </ul>
2021年8月30日	「2021年度子どもゆめ基金」から、次のイベントの助成金交付決定の通知を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データ集録・解析ワークショップ</li> </ul>
2021年11月20日	2022年度子どもゆめ基金に、次のイベントの助成申請をした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離島で行うサイエンスキャンプ</li> <li>・ 科学研究体験ワークショップ</li> <li>・ データ集録・解析ワークショップ</li> </ul>

別表(1) 2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
1	人文・社会	太田 英伶奈	早稲田大学大学院文学研究科人文学専攻	博士後期課程5年	コムノス朝期ビザンティン美術における終末観――審判と天国・地獄の表現を中心に――	436,048
2	人文・社会	茶園 直人	大阪大学大学院言語文化研究科日本語日本文化専攻	博士後期課程2年	物としぐさの意味―撫でるしぐさをめぐって―	450,000
3	人文・社会	岡本 樹	早稲田大学大学院文学研究科考古学コース	博士後期課程2年	縄文時代における製塩と漁撈活動の関係性に関する研究	102,638
4	人文・社会	王 作造	京都大学大学院文学研究科行動文化専攻社会学専修	博士後期課程6年	生活様式としての解放の神学:スハルト期インドネシアにおける華人の社会的包摂に関する歴史社会学的研究	700,000
5	人文・社会	于 海春	早稲田大学現代政治経済研究所	次席研究員	腐敗問題報道における中国地方紙のメディアフレームの比較分析―計量テキスト分析を中心に―	594,331
6	人文・社会	霜山 祥子	東京大学大学院教育学研究科教育心理学コース	博士後期課程3年	自閉スペクトラム症に伴う性別違和傾向の発生機序の探索的検討	570,000
7	人文・社会	劉 コウ	名古屋大学大学院人文学研究科文化動態学専攻	博士候補研究員	戦後日本社会における「引揚者」をめぐる帰属の政治―満洲引揚者という社会的カテゴリーの形成に着目して―	650,000
8	人文・社会	曾村 みづき	東京藝術大学大学院音楽研究科音楽専攻	博士後期課程4年	昭和初期から後期における近代琵琶楽の受容―音響メディアの基礎研究を通して―	300,000
9	人文・社会	佐々木 啓	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	博士後期課程2年	観光拠点施設を用いた来訪者への災害情報発信の方法論の構築	450,000
10	人文・社会	伊藤 陽平	外務省外交史料館	期間業務職員	首都圏形成下の都市計画と地方自治―埼玉県戸田市の戸田漕艇場の利用計画を中心に―	300,000
11	人文・社会	楊 妍	東北大学大学院国際文化研究科	GSICSフェロー	近代日本における中国女性の認識	380,000
12	人文・社会	何 雨	筑波大学大学院人文社会科学研究科歴史・人類学専攻	一貫制博士課程4年	清末民国期における日中交流及び仏教革新運動の展開――仏教の社会化に着目して―	600,000
13	人文・社会	田丸 尚美	沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室	契約職員	首里城再建に向けた琉球における日本文化の受容・展開の解明―首里城南殿・書院及び周辺施設の室内装飾―	326,388
14	人文・社会	瓜生 翠	九州国立博物館学芸部博物館科学課	アソシエイトフェロー	対馬に渡来した木版印刷經典の付着物からみた伝統的製作技法に関する基礎的研究	700,000
15	人文・社会	木場 安莉沙	名古屋文理大学	助教授	日系およびその他アジア系アメリカ人をめぐる現代米国社会のディスコース	153,089
16	人文・社会	進藤 翔太郎	京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学現代文明論	博士後期課程3年	日米共同海運事業と1970年代日米関係―フェアワールド・マックスウエル社の果たした役割に着目して―	244,910
17	人文・社会	田中 文菜	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	博士後期課程3年	狩猟採集民バカにおけるマルチプルケアと乳幼児からの愛着行動	550,000
18	人文・社会	深谷 岬	京都外国語大学大学院外国語学研究科異言語・文化専攻	博士後期課程3年	先スペイン期ニカラグアカリブ地域における岩刻画の利用に関する研究	81,831
19	人文・社会	相川 裕亮	広島大学大学院人間社会科学研究科	助教	フランス・シェーファーによる世俗化批判	280,000
20	人文・社会	宮本 佳和	国立民族学博物館	外来研究員	ナミビア・ヘレロの祖先観念と伝統的権威の祖先の土地返還運動に関する人類学的研究	500,000
21	人文・社会	夏目 宗幸	立命館大学文学部地域研究学域地理学専攻	特任助教	江戸幕府による農村開発モデルの解明	800,000
22	人文・社会	張 雅	名古屋大学大学院人文学研究科	博士候補研究員	1940年代に南洋へ移動する女性作家をめぐる研究	500,000
23	人文・社会	三隅 貴史	関西学院大学社会学研究科	研究員	青森ねぶた祭における「価値をめぐる闘争」の民俗学的研究	280,000
24	人文・社会	樋田 有一郎	日本女子大学家政学部	学術研究員	地方郡部の高校と地域の連携の教育モデルの実践的研究―都鄙間高次協働研究活動のアクションリサーチ―	650,000
25	人文・社会	池田 直文	九州大学大学院地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	博士後期課程2年	大戦間期日本の対中文化事業政策と外務官僚―岡部長景・天羽英二・林出賢次郎を事例として―	635,098
26	人文・社会	廖 凱	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻	博士後期課程2年	トラフグ(Takifugu rubripes)の2つの養殖システムの環境経済的評価	321,448
27	人文・社会	Jargalsaikhan Jargalma	京都大学大学院教育学研究科教育科学専攻	博士後期課程4年	モンゴルの大学における民主主義の考え方	111,808
28	人文・社会	王 歆歆	岡山大学大学院社会文化科学研究科社会文化学専攻	博士後期課程4年	(1)明清代河海地域における朝廷による蛮民の支配と蛮民の反乱(2)民国の絵葉書・写真に見る蛮民の様相	463,597

別表（１） 2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
29	人文・社会	盧 暁鳳	東北大学大学院国際文化研究科国際文化研究専攻	博士前期課程 2年	環東シナ海における海域交流としての僧侶の役割	770,000
30	人文・社会	岩谷 舟真	東京大学大学院人文社会系研究科	助教	新型コロナウイルス感染症禍において人出増加についての情報は人々の外出行動にどのような影響を及ぼすのか	830,000
31	人文・社会	角田 燎	立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻	博士後期課程 2年	旧軍関係者団体の戦後派世代への「継承」-自衛官OBの参加と歴史認識の変遷	810,000
32	人文・社会	DUPERTUIS NOEMITINA	京都大学東南アジア地域研究研究所	連携研究員	分節化された境域におけるアイデンティティ形成過程：ミャンマーのチョーチン民族内における力と抵抗の動態	660,000
33	数物・工学	新家 寛正	北海道大学低温科学研究所	非常勤研究員	“未知の水”から紐解く水の特異物性の謎	700,000
34	数物・工学	鈴木 弘朗	岡山大学大学院自然科学研究科	テニュアトラック助教	プラズマ有機金属化学気相成長の3ゾーン化による二次元半導体の低温・高速成長	550,000
35	数物・工学	Wong Yong Jie	京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター	博士後期課程 2年	3Dプリンターを利用したIoT水質監視装置の開発・検証と適用：IR4.0に向けて	500,000
36	数物・工学	高橋 淳一	高知大学教育研究部自然科学系理工学部門	特任助教	Rigged Hilbert 空間論を用いた非エルミート量子力学の数学的基礎付け	200,000
37	数物・工学	ZHAO BO	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻	特任助教	琵琶湖における病原微生物の負荷源の探索	660,000
38	数物・工学	後藤 真矢子	名古屋工業大学大学院工学研究科創造工学プログラム	博士前期課程 2年	ネオジム磁石を凌駕するSmFe12バルク磁性材料へのテロ凝固核理論導入による創出	650,000
39	数物・工学	浅見 明太	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻	博士後期課程 2年	水の電気分解による水素生成に特化した波状量子構造太陽電池の開発	673,842
40	数物・工学	寺谷 義道	大阪市立大学大学院理学研究科数物系専攻	特任教員	近藤効果が発現する多軌道量子ドットにおける非平衡輸送に対する電子間相互作用の効果	500,000
41	数物・工学	大川 采久	長岡技術科学大学大学院工学研究科技術科学イノベーション専攻	一貫制博士課程 4年	希土類珪酸塩へのSiC添加による自己修復と耐水蒸気腐食性の向上に基づく、耐環境被覆としての優位性検証	650,000
42	数物・工学	LIU CHUNMENG	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科マテリアルサイエンス学系	研究員	その場TEM計測による単層2硫化タングステン・ナノリボン電気伝導の構造依存性に関する研究	650,000
43	数物・工学	嶋 紘平	東北大学	助教	酸化亜鉛微小共振器における室温ポラリトンレーザ発振の実証	550,000
44	数物・工学	土山 絢子	東京工業大学大学院理学院地球惑星科学系	博士後期課程 1年	深発地震の発生機構の解明を目指した海洋プレート内における水の存在領域の推定とその手法開発	598,338
45	数物・工学	服部 隼也	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻	博士後期課程 1年	油水分離器のための超親油・超撥油性を有する表面微細構造の超高速加工の実現	850,000
46	数物・工学	山田 智子	大阪府立大学大学院工学研究科量子放射線系専攻	博士後期課程 1年	複合イオン照射によるSiO2ガラス内ナノ構造体の合金化における構造制御	700,000
47	数物・工学	丸山 遥香	東京農工大学大学院工学府電子情報工学専攻物理応用工学専修	博士後期課程 2年	気体原子と固体の間でのスピン移行の実証	690,000
48	数物・工学	金子 光瑠	豊橋技術科学大学大学院工学研究科応用化学・生命工学専攻	博士前期課程 2年	畜産系循環資源を用いた小規模普及型メタン発酵システムにおける微生物群集構造解析	0
49	数物・工学	二本木 克旭	大阪大学大学院理学研究科物理学専攻	博士後期課程 1年	強磁場・高圧力下磁化測定装置の開発とフラストレート量子磁性体の研究	320,000
50	数物・工学	今泉 恵太	東京工業大学大学院理学院物理学系	博士後期課程 2年	量子論における非摂動的な計算手法の確立	0
51	数物・工学	小島 かな子	大阪府立大学大学院工学研究科	博士後期課程 2年	海中調査機器群を用いた海洋調査手法の提案	740,000
52	数物・工学	吉村 僚太	東京都立産業技術研究センター事業化支援本部地域技術支援部	研究員	環境地図生成技術を用いたコンテナ船監視システムの開発	842,547
53	数物・工学	岡田 和記	関西大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程 2年	多次元 Langevin 方程式を用いた超重核領域における核分裂の動力学的研究	294,658
54	数物・工学	岡田 達典	東北大学金属材料研究所	助教	点接触分光法による磁束ピン止め機構の究明 -超伝導線材の通電特性向上に向けて-	500,000
55	数物・工学	藤井 竣	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻	博士後期課程 2年	ハイドロfoil搭載ASVによる高速・高効率な小型海上輸送システムの開発	910,000
56	数物・工学	世田 拓也	京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻	博士後期課程 2年	リサーチェンスを用いたアノマリー相殺構造の拡張と応用	125,599

別表（１）２０２１年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
57	数物・工学	川口 海周	東京大学大学院理学系研究科物理学専攻	博士後期課程 3年	時間・スピン・角度分解光電子分光装置を用いた光誘起トポロジカル電子状態の研究	650,000
58	数物・工学	Wang Aobo	愛媛大学大学院理工学研究科先端科学特別コース環境科学分野	博士後期課程 2年	東アジア縁辺海における残留性有機汚染物質の空間分布と長期変化に対する物理過程の影響	770,000
59	数物・工学	細野 日向子	日本大学大学院総合基礎科学研究科地球情報数理科学専攻	博士前期課程 1年	鉱物脈から推定する巨大地震を引き起こす分岐断層沿いの流体挙動－宮崎県延岡衝上断層での事例－	510,000
60	数物・工学	TANG TAO	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科物質創成科学研究領域	博士後期課程 2年	フェムト秒レーザー誘起衝撃力を用いた1細胞物性のオンチップ電気計測手法の開発	649,634
61	数物・工学	阿部 健太郎	九州大学大学院工学府地球資源システム工学専攻	修士課程 2年	台湾北部大屯火山群における熱水変質活動からみた地熱資源ポテンシャルの可視化	650,000
62	数物・工学	山本 健太	筑波大学大学院人間総合科学学術院情報学学位プログラム	博士後期課程 1年	フェムト秒レーザー励起水中プラズマを活用した3次元カラーディスプレイ	635,109
63	数物・工学	笹原 裕太郎	東京海洋大学海事システム工学部門	助教	粒子法を用いた浮体式振動水柱型波力発電装置の波浪中性性能解析手法に関する基礎的研究	861,362
64	数物・工学	高橋 弘幸	東京都立大学大学院総合理工学研究科自然科学専攻	博士前期課程 2年	高精度な1000核種の不安定原子核半径測定システムの開発	650,000
65	数物・工学	安倍 悠朔	早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻	修士課程 2年	単一粒子計測法を用いた多孔質体内部におけるナノ粒子の拡散運動の解明	650,000
66	数物・工学	横瀧 丈太郎	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻	博士前期課程 2年	浮延縄漁具の釣針部に生じるしゃくり運動とその原因の解明	623,845
67	数物・工学	勝亦 祐介	芝浦工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻	修士課程 2年	超音速フリージェット PVD による固体酸化燃料電池用電解質膜の開発	488,020
68	数物・工学	坂田 隼矢任	久留米工業大学大学院エネルギーシステム工学専攻	修士課程 2年	久留米餅 x テクノロジー ～久留米の伝統工芸を影から支える新技術の開発～	105,323
69	数物・工学	藤原 翔太	東京工業大学大学院理学部物理学系物理学コース	博士後期課程 3年	AdS/CFT 対応を用いた超共形指数による超共形場理論の研究	0
70	数物・工学	奥谷 智裕	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻	特任研究員	エラストマー被覆構造を用いた生体に密着する温度センサの開発	700,000
71	化学	植松 祐輝	九州大学理学研究院物理学部門	助教	水・アルコール・電解質3成分系における定常電流下の非平衡相分離の探索	700,000
72	化学	大月 興春	東邦大学薬学部	助教	抗 HIV 薬の創製を目指す新規大環状ダフナン型ジテルペノイドの探索研究	770,000
73	化学	Kotchakorn T.sriwong	東京工業大学生命理工学院生命理工学系	博士課程 2年	3D プリンターとナノテクノロジーを駆使する環境調和型の新規酵素反応システムによる有用物質の合成	769,554
74	化学	Samira Poorsadeghi Markhali	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士後期課程 2年	含フッ素天然化合物の迅速合成法の開発と創薬シーズとしての応用研究	390,654
75	化学	木田 拓充	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス系	助教	重水素化ラベル法を用いた分子量が高分子の構造形成に与える影響の解明	750,000
76	化学	金 東暎	京都大学工学研究科高分子化学専攻	博士研究員	スルホペタイン含有全イオン性トリブロックシステムの開拓とその自己組織化	650,000
77	化学	Akhilesh Babu Ganganboina	静岡大学グリーン科学技術研究所	ポストドクトラル研究員	高感度の自己動力供給型ウイルス検出に関する研究	0
78	化学	田中 耕作三世	昭和薬科大学薬学部	特任助教	ケトン等価体であるケトキシムの効率的合成法の確立	790,000
79	化学	岩本 貴寛	中央大学理工学部	助教	元素化学的分子設計による P-キラル配位子の開発と不斉反応への応用	720,000
80	化学	上田 修裕	海洋研究開発機構(JAMSTEC)	ポストドクトラル研究員	原始火星における水-岩石反応により生成した熱水の組成推定	800,000
81	化学	脇坂 聖憲	東北大学大学院理学研究科	助教	室温で強磁性体となる炭化鉄クラスターの精密合成法の開発	790,000
82	化学	柳澤 純一	九州大学大学院理学府化学専攻	博士後期課程 2年	プロトン整流特性を示す極性一次元配位高分子の開発	470,000
83	化学	小野瀬 悠佑	筑波大学大学院数理物質科学研究科物性・分子工学専攻	博士後期課程 3年	逆加硫化法を用いたメチルオイゲノールの重合	637,571
84	化学	岡村 仁則	東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻	助教（任期5年）	放線菌二次代謝産物特異的に見られる非タンパク質構成アミノ酸の生合成中間体に関する生物有機化学的研究	790,000

別表(1) 2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
85	化学	福永 悠	東京工業大学大学院理学院化学系	博士後期課程1年	凍結による高感度ラマン分光の実現と測定系の拡大による新たな化学の開拓	700,000
86	化学	加藤 康作	豊田工業大学大学院工学研究科	ポスドクトラル研究員	光電極の活性向上を目指した磁場印加によるキャリア長寿命化	660,000
87	化学	北山 雄己哉	大阪府立大学大学院工学研究科物質化学系専攻応用化学分野	特別助教	核酸塩基機能に着目した高分子微粒子界面光架橋反応による機能性カプセルの調製	720,000
88	化学	鹿又 喬平	大阪大学大学院薬学研究所	特任助教	セルロースナノファイバーの界面構造が拓く高機能触媒と未来型分子変換	710,000
89	化学	栗原 大輝	成蹊大学理工学部物質生命理工学科	助教	糖鎖封入リボソームを用いた細胞を反応場とした糖鎖プロセッシング解析法の開発	708,657
90	化学	太田 早紀	関西大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程3年	Tgレス材料の開発を目的としたメソゲン骨格エポキシ樹脂の高架橋性・高秩序性ネットワーク構造の形成	520,000
91	化学	志賀 翔多	山形大学大学院理工学研究科バイオ工学専攻	博士後期課程3年	フォールディング過程の解明による人工ドメインスイッチング蛋白質の設計基盤の構築	790,000
92	化学	浅沼 光吾	東北工業大学大学院工学研究科環境情報工学専攻	博士後期課程2年	ナノ多孔体孔内でのガス吸着制御及び化学反応を用いた呼吸ガス分析法の研究	720,000
93	化学	林 友哉	富山大学大学院医学薬学教育部薬科学専攻	博士後期課程3年	ペプチド鎖の残基選択的な切断を志向する酵素の活性ポケットを模倣した大環状反応場の創出	680,000
94	化学	古賀 武尊	徳島大学大学院先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻	博士後期課程2年	神経突起形成促進作用を示すハブ由来物質に関する研究	710,000
95	化学	曾谷 太一	関西大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程3年	アップコンバージョンに利用可能な循環型社会に適合した含白金ノルボルネン系ポリマーの合成	495,064
96	化学	杉浦 慎哉	立命館大学大学院生命科学研究所生命科学専攻	博士後期課程2年	電子・光機能集合体を構築する拡張 $\pi$ 電子系イオンの合成	650,000
97	化学	高橋 仁徳	北海道大学電子科学研究所	助教	放射性トリチウム水分離に向けた分子回転型水分子リレー輸送による水/重水分離材の開拓と分離機構解明	700,000
98	化学	野口 忠輝	富山大学大学院理工学教育部地球生命環境科学専攻	博士課程2年	アジア大陸を起源としたエアロゾル大気輸送像の把握と海洋表層基礎生産への影響評価	800,000
99	化学	杉山 晴紀	分子科学研究所生命・錯体分子科学研究領域	助教	サリチリデンアニリン誘導体を配位子とした金属錯体結晶が示す多重クロミズム物性の解明	260,000
100	化学	川田 紘次郎	東京農業大学大学院農学研究科バイオサイエンス専攻	博士後期課程3年	新奇根寄生性植物防除法の確立を目的としたストリゴラクトン生合成阻害剤の創製	692,109
101	化学	軽尾 友紀子	摂南大学薬学部薬学科	特任助教	プロトン性溶媒中でも求核性を保持したビリジニウムフルオリドの反応機構解析と実用化	440,000
102	化学	加藤 朱里	北里大学大村智記念研究所	特任助教	In situ クリックケミストリーを用いた標的酵素誘導型合成による新規 $\beta$ -ラクタマーゼ阻害剤の創製	650,000
103	化学	中村 悠人	横浜国立大学大学院理工学部化学・生命系理工学専攻	博士後期課程1年	電気化学測定を駆使するフローマイクロ電解反応の効率的条件探索	598,840
104	化学	西野 龍平	立教大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程3年	ベンゼンのケイ素類縁体の合成と性質解明を通じた芳香族性に関する研究	790,000
105	化学	福 健太郎	東北大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程2年	機械学習を用いた金属錯体のXANESスペクトルの予測と解析	577,404
106	化学	北村 宙士	名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻プロセス化学分野	修士課程2年	ベイズ最適化を駆使するプロチドの高効率マイクロフロー合成法の開発	720,000
107	化学	宮田 達	東京農工大学大学院連合農学研究科環境資源共生科学専攻	博士後期課程1年	環境条件の違いが海草・海藻類中の難分解性有機物および分解特性に与える影響評価	624,474
108	化学	上嶋 里菜	立命館大学大学院生命科学研究所生命科学専攻	博士後期課程1年	グルコースが結合した新規グリセロリン脂質の生合成機構の解明を目指した分子プローブの開発	650,000
109	化学	野水 大輝	横浜国立大学大学院環境情報学府人工環境専攻	博士前期課程2年	新規DGA系抽出剤と中性配位子の協同抽出作用による希土類元素分離機構の解明	790,000
110	化学	雷 振	東京大学大学院理学系研究科化学専攻	特任助教	配位子の精密設計による炭素中心金(I)クラスターのリン光発光特性制御	770,000
111	化学	陳 強	岡山大学大学院自然科学研究科学際基礎科学専攻	博士後期課程3年	配向基への金属の配位を利用した多置換オレフィンの自在合成	790,000
112	化学	大橋 萌	東京医科歯科大学大学院	博士後期課程2年	リソソーム酵素に対して選択的分解応答を示す超分子医薬の設計と分解機能の評価	700,000
113	生物	落合 彩月	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻水圏生物学コース	修士課程2年	北海道東部沿岸域において再定着しつつあるチシマラッコの採餌場選択	731,671
114	生物	唐 暢	東北大学大学院薬学研究科生命薬科学専攻	博士後期課程1年	ゲノムワイド関連解析による自然免疫における免疫記憶の解明	740,000

別表（１）２０２１年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
115	生物	吉澤 晃弥	北海道大学大学院生命科学院	修士課程 2年	がん細胞の倍数性ダイナミクスを司る紡錘体構成因子の特定	640,000
116	生物	藤田 純太	京都府立東舞鶴高等学校	教諭	舞鶴湾における両側回遊性エビ類の実験分子生態学的研究：次世代シーケンス解析による海洋幼生分散の推定	880,000
117	生物	大西 康平	甲南大学大学院自然科学研究科	特別研究員	線虫の温度馴化における温度受容体 GPCR の分子生理学的解析	790,000
118	生物	田野入 開	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻	博士前期課程 2年	ケフサイソガニのマイクロプラスチック摂取要因に係る油脂寄与の解明	546,262
119	生物	中野 李南子	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻衛星研究室	修士課程 2年	東北沖及び瀬戸内海における有害藻類ブルームの特徴とその比較	218,275
120	生物	松本 龍介	東京海洋大学大学院海洋生命資源科学専攻	博士前期課程 1年	オレンジエビ症候群の病原体特定と体色オレンジ化の分子生物学的メカニズム解明	0
121	生物	藤原 敬允	東京大学大学院大気海洋研究所新領域創成科学研究科自然環境学専攻	修士課程 2年	海洋細菌の新規光エネルギー利用機構の探索－微生物型ロドプシンのアンテナ機構の解明－	765,079
122	生物	吉村 充騎	東京大学定量生命科学研究所ゲノム情報解析研究分野	特任研究員	近接依存性標識法を用いたコヒーシオン－エンハンソーム構成因子間の空間的・経時的变化の解明	780,000
123	生物	新井 嵩博	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻	博士後期課程 1年	同形世代交代型褐藻アミジグサの成熟胞子体が野外で優占する要因の特定	720,000
124	生物	下山 紘也	東京大学大学院大気海洋研究所理学系研究科生物科学専攻	修士課程 2年	性ステロイドホルモンによるトラザメ繁殖制御機構の研究	500,000
125	生物	泉 和弥	名古屋市立大学大学院薬学研究科医療機能薬学専攻	博士課程 1年	実験と数理科学の両面からのマルチオミクス解析に基づく神経芽腫新規治療法の提案	600,000
126	生物	高内 さつき	北里大学大学院海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻	修士課程 2年	系統解析および集団遺伝解析による直達発生型ミズクラゲの種分化の検討	750,000
127	生物	ZHOU BAIFENG	東京工業大学大学院生命理工学院生命理工学科ライフエンジニアリングコース	博士後期課程 3年	単細胞紅藻シゾンにおける窒素欠乏応答転写因子 MYB1 の活性制御機構の解明	740,000
128	生物	猪崎 風葉	埼玉大学大学院理工学研究科生命科学系専攻	博士後期課程 3年	通性嫌気性光合成細菌 <i>Chloroflexus aurantiacus</i> の好気条件における光合成の解析	640,000
129	生物	花輪 万智	東邦大学大学院理学研究科生物学専攻	博士前期課程 2年	局地性湧昇流に着目した伊豆諸島に進出するウミネコ個体群と海洋餌資源の関係	730,000
130	生物	小川 翔子	埼玉大学大学院理工学研究科生命科学系専攻分子生物学コース	修士課程 2年	芳香族テトラピロール環の高難度 6 電子還元酵素 CfbD の活性を担う未知補因子と触媒機構の解明	540,000
131	生物	堀口 元気	東洋大学大学院生命科学研究科生命科学専攻	博士後期課程 3年	水中順応能力をもつ陸上高等植物が行う重炭酸イオン利用型光合成を可能とする重炭酸イオン輸送体の探索	740,000
132	生物	野崎 翔平	筑波大学生命環境系つくば機能植物イノベーション研究センター	助教	植物ホルモンの司令塔因子が示すタンパク質液－液相分離の生理的意義	690,000
133	生物	藤島 幹汰	京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻	修士課程 2年	水中ドローンを用いたウミヘビの行動分類と深い潜水の適応的意義の探究	610,000
134	生物	渡辺 開智	広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻	博士後期課程 1年	ウニ胚の時空間蛍光観察とデータ駆動型モデルによる原腸形成－左右性決定機構の解明	610,000
135	生物	中西 紀代子	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻	修士課程 2年	水温変動がもたらす北海道沿岸域の藻場の炭素吸収能と栄養塩利用動態に与える影響評価	500,000
136	生物	大竹 佑衣	お茶の水女子大学大学院ライフサイエンス専攻生命科学コース	修士課程 2年	浅場から深場に幅広く生育する大型褐藻類アントクメの局所適応の解明とそれを応用した新しい保全方法の確立	700,000
137	生物	山中 朔人	京都大学大学院農学研究科応用生物学専攻	修士課程 2年	カクレマノミ <i>Amphiprion ocellaris</i> における付着卵型顕微注入法の確立	720,000
138	生物	柿原 礼佳	九州大学大学院システム生命科学研究科システム生命科学専攻	一貫制博士課程 5年	哺乳類における全能性の基盤要素の同定	790,000
139	生物	栗原 寛明	東京農業大学大学院生物産業学研究科アクアバイオ学専攻	博士前期課程 2年	最終氷期の劇的な気候変動はハタハタの進化にどう影響したか？	897,710
140	生物	山本 一徳	神奈川工科大学応用バイオ科学部応用バイオ科学科	助教	多細胞体の形態を規定する細胞表面張力・曲げ弾性率・細胞間接着力の動物種間比較	910,000
141	生物	趙 在翼	国立環境研究所福島地域協働研究拠点環境影響評価研究室	准特別研究員	DNA メタバーコーディングに基づくヤマメの食性解析に向けた DNA データベースの構築	500,000
142	生物	佐藤 太紀	広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻	博士前期課程 2年	サンゴ被度を決定づけるサンゴコミュニティ内での褐虫藻ループの証明	650,000

別表（１）２０２１年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
143	生物	堀 翔悟	長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科バイオサイエンス専攻	博士後期課程 2年	有尾両生類の低温適応における温度センサー分子の機能に関する研究	790,000
144	生物	西垣 南歩	埼玉大学大学院理工学研究科生命科学系専攻	博士前期課程 2年	糖鎖構造の多様性に着目したマンナン多糖類の改良	590,000
145	生物	永田 榛花	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻	博士前期課程 2年	アシルトランスフェラーゼの多角化から考えるオイル産生藻類の分子基盤	500,000
146	生物	柴田 紗帆	法政大学大学院理工学研究科生命機能学専攻植物医科学領域	博士後期課程 2年	葉面菌類の生態機能解明に向けた同定の基盤構築	710,000
147	生物	徳永 壮真	総合研究大学院大学複合科学研究科極域科学専攻	博士前期課程 1年	ホホジロザメは餌生物をどのように追うか：AI搭載型ビデオロガーを用いた追跡戦術の解明	287,137
148	生物	石倉 明依	東海大学大学院海洋学研究科海洋学専攻	修士課程 2年	黒潮大蛇行が動物プランクトンに及ぼす影響を探る－駿河湾におけるオキアミ類の生活史・経年変動に着目して	500,000
149	生物	青柳 拓也	静岡大学大学院創造科学技術研究科バイオサイエンス専攻	博士後期課程 3年	シロイヌナズナ IDD 転写因子による新奇な光種子発芽制御メカニズムの解明	640,000
150	生物	林 祐介	早稲田大学大学院先進理工学研究科生命医科学専攻	博士後期課程 2年	がん細胞貪食機構に着目した Canibalism 細胞追跡システムの開発	199,408
151	生物	竹村 知夏	高知大学大学院総合人間自然科学研究科農林海洋科学専攻農芸化学コース	修士課程 2年	植物病原細菌である青枯病菌の病原性に不可欠な、高度に秩序だった青枯病菌細胞集団構造物の形成機構の解明	620,000
152	生物	矢部 哲也	山梨学院大学スポーツ科学部	特任講師	メンタルヘルス改善のための心理的介入を併用した効果的な運動方法の構築	740,000
153	生物	富士田 壮佑	東北大学大学院生命科学研究科	博士後期課程 2年	エダシクラゲの触手再生メカニズムから見えてくる祖先的な再生原理の解明	640,000
154	生物	神野 智世	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻	博士後期課程 1年	陸上植物の多細胞化の鍵を握る原形質連絡を作り出す新奇因子の発見とその分子機構の解明	790,000
155	生物	松井 信太郎	北里大学大学院海洋生命科学部海洋生命科学科	博士後期課程 2年	ネコザメ皮膚レクチンのプロトンピン様タンパク質活性化メカニズムの解明	600,000
156	生物	片山 蒼	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻	博士前期課程 1年	沖縄島潮間帯フジツボ類における環境周期への適応機構	750,000
157	生物	宮本 知英	東北大学大学院生命科学研究科生態発生適応科学専攻	修士課程 1年	発生メカニズムの変更による真骨魚類の正中ヒレ多様性創出機構の解明	800,000
158	生物	片桐 壮太郎	東京農工大学大学院生物システム応用化学府生物機能システム科学専攻	博士後期課程 1年	機能未知タンパク質 SNS1 を介した植物が持つ長期の乾燥に抵抗するメカニズムの解明	460,000
159	生物	Myat Htoo San	佐賀大学大学院先進健康科学研究科	修士課程 2年	日本とミャンマーのアマノリの比較 RNA 配列解析による、耐熱性のメカニズムの解明	690,000
160	生物	山下 みのり	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻	博士前期課程 2年	外傷性脳損傷修復におけるピトロネクチン (VN) の神経保護作用	590,000
161	生物	大坪 雅	宮崎大学大学院農学研究科農学専攻植物生産環境科学コース	修士課程 2年	花の発熱を誘導する細胞膜局在型糖輸送体の探索および同定	590,000
162	生物	倭 千晶	京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻	博士後期課程 1年	無人航空機を用いた海草分布とジュゴンの摂餌場の季節変化に関する研究	640,000
163	生物	櫻井 航輝	大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻	博士後期課程 3年	In vivo 蛍光イメージングによる精神疾患モデルマウスの脳内レドックス動態の可視化	730,000
164	生物	芦部 詩織	東京農工大学大学院連合農学研究科生物生産科学専攻	博士課程 3年	受精直後のウシ卵子内における精子ミトコンドリア活性動態の解析	640,000
165	生物	北之坊 誠也	筑波大学下田臨海実験センター	非常勤研究員	ミドリイシ属サンゴの野外での受精成功と交雑の検証	640,000
166	生物	菊池 証哉	東京農工大学大学院農学研究科バイオサイエンス専攻	博士前期課程 2年	食餌性葉酸摂取量モデルマウスにおける胎仔雄性生殖細胞のメチローム解析	705,430
167	生物	小野田 浩宜	横浜国立大学生命医科学研究科	特任助教	C3 対称の環状タンパク質 PCNA を分割タグとして用いたクライオ電顕の C3 対称解析と粒子投影角度の制御	740,000
168	生物	黒田 絵莉子	金沢医科大学総合医学研究所生命科学研究領域細胞医学研究分野	助教	新規分子 DELE1 を用いたミトコンドリア異常の可視化マウスの開発	540,000
169	生物	善端 大貴	富山大学大学院理工学教育部生物学専攻	修士課程 2年	ゼブラフィッシュを用いた虚血性脳障害に対する PACAP の神経保護作用の解明	620,000

別表（1）2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
170	生物	朝妻 知子	東京医科大学医学部ケミカルバイオロジー講座	助教	サリドマイド催奇性シグナル伝達の解明	623,975
171	生物	山口 空	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	博士後期課程1年	セルロースの合成と分解の両方で動く蛋白質の機能から考える海陸圏のセルロース循環	653,097
172	生物	松本 陽乃	総合研究大学院大学生命科学研究科基礎生物学専攻	博士課程3年	多能性幹細胞のDNA複製制御機構の解析	520,000
173	生物	友成 実生子	高知大学大学院総合人間自然科学研究科理工学専攻生物科学コース	修士課程2年	高知県沿岸に來遊するウミガメ類の個体群構造と生理学に関する研究	690,000
174	生物	藤木 早良	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物学専攻	修士課程2年	なぜ長く潜れる？新しい手法による心拍測定で鯨類の潜水生理に挑む	690,000
175	生物	小枝 圭太	東京大学総合研究博物館	特任助教	ハタンボ科魚類の分類学的再検討と生物発光の獲得起源の解明	750,000
176	生物	田中 瑛一郎	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻	博士前期課程2年	琉球列島における集魚灯に螺集する仔稚魚の解明	650,000
177	生物	貝羽 良介	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	修士課程2年	クロマグロの摂餌行動の把握を目的とした行動時系列記録の機械学習を用いた自動的な解析手法の確立	950,000
178	生物	鈴木 慎一郎	関西学院大学理工学部	研究員	神経機能を制御するドコサヘキサエン酸（DHA）の新規作用機序の解明	740,000
179	生物	三俣 好令	岡山大学大学院環境生命科学研究科農生命科学専攻	博士後期課程3年	細胞外リンゴ酸によるSLAC1チャネル活性制御のメカニズムの解明	580,000
180	生物	永田 賢司	東京大学総合文化研究科広域科学専攻	助教	脂質-転写因子複合体による植物表皮分化制御系の起源に関する研究	680,000
181	生物	伴 広輝	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	博士後期課程1年	珪藻キートセロス属の進化・生態の包括的理解に向けた全ゲノム解析	621,127
182	生物	鶴田 真理子	熊本大学大学院医学教育部医学専攻	博士課程1年	造血幹細胞の個体発生における最も初期の前駆細胞の同定と分化シグナルの解明	790,000
183	生物	山下 謙介	東邦大学大学院理学研究科生物学専攻	博士前期課程1年	測定・モデル化・操作による発現振動の理解	590,000
184	生物	黒木 義人	総合研究大学院大学生命科学研究科基礎生物学専攻	博士後期課程1年	マウスとプラナリアの多能性幹細胞に共通した分子機構を解明し多細胞動物の起源を探る試み	680,000
185	生物	廣瀬 直樹	山梨大学大学院医工農学総合教育部統合応用生命科学専攻生命工学コース	博士後期課程3年	クローン胚と円形精子細胞由来胚の比較による低出産成績改善の試み	690,000
186	生物	野口 崇哉	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程2年	光化学系II光損傷機構の段階的評価法の確立と自然条件下にある植物の光阻害の実態解明への応用	0
187	生物	草木迫 浩大	北里大学獣医学部獣医学科獣医寄生虫学研究室	助教	蚊中腸における抗原虫応答の網羅的な遺伝子解析～マラリア原虫生活環のボトルネックをターゲットにして～	622,006
188	生物	門叶 康平	東北大学大学院生命科学研究科多様性ダイナミクス講座	博士前期課程1年	変態期のバフンウニの消化管周辺に見られる腸消化管細胞の性質解明	640,000
189	生物	白石 真土	三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座	博士課程2年	リンパ系に着目したアオリイカの組織再生機構の探求	670,000
190	生物	吉田 千七海	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻	博士前期課程1年	海生節足動物の抗体様タンパク質にもとづく海洋環境測定技術の開発	770,000
191	生物	荒木 球沙	国立感染症研究所寄生動物部	研究員	電子顕微鏡を用いた休眠期マラリア原虫のオルガネラ3D構造解析	778,660
192	生物	森 美里	日本大学大学院生物資源科学研究科生物資源生産科学専攻	博士後期課程3年	ヘモグロビンは非侵襲的な免疫賦活剤の効果判定および魚類健康診断の指標となりえるか？	850,000
193	生物	小林 優也	大阪市立大学大学院理学研究科生物地球系専攻	博士前期課程2年	クマノミのイソギンチャクへの給餌行動の実態と適応的意義	690,000
194	生物	Astri Nur Faizah	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻	特任助教	日本脳炎ウイルス重複感染における昆虫ウイルス感染が及ぼす影響の解析：新規生物学的防除法の開発	670,000
195	生物	佐野 文哉	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程2年	構造機能解析から迫るミトコンドリアのイオン濃度維持機構	498,960
196	生物	松田 亮	創価大学大学院理工学研究科環境共生工学専攻	博士前期課程2年	南大洋季節海水域に生息する渦鞭毛虫 Gyrodinium sp. の摂餌特性の解明	670,000
197	生物	井手 圭吾	早稲田大学大学院先進理工学研究科生命医科学専攻	博士後期課程3年	シングルゲノム情報に基づくサンゴ共生 Endozoicomonas 属の宿主適応機構の解明	517,412
198	生物	真野 叶子	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	博士後期課程2年	神経細胞内タンパク質恒常性を担う構成的オートファジーとミトコンドリア局在の関係の研究	790,000



別表（１）２０２１年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
199	生物	横川 綾子	埼玉大学大学院理工学研究科生命科学専攻生体制御学コース	博士前期課程 1年	中脳と後脳の境界領域の発生を支配する gbx 遺伝子の機能と発現制御機構の再評価	670,000
200	生物	GUO ZIXUAN	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群地球科学学位プログラム	博士後期課程 1年	中新世マイルカ小目（鯨偶蹄目・ハクジラ亜目）の系統と進化から見た鯨類相の劇的刷新	110,353
201	生物	オン 碧	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群生命農学学位プログラム	博士後期課程 2年	陸棲藍藻 <i>Nostoc</i> sp. HK-01 が生産する紫外線 C 波耐性に寄与する物質の単離および同定	602,637
202	生物	張替 若菜	大阪大学大学院連合小児発達研究科分子生物遺伝学領域	博士後期課程 1年	神経可塑性に関わる神経軸索の根元構造の制御分子メカニズム	790,000
203	生物	三谷 優姫	鹿児島大学大学院理工学研究科理学専攻	博士前期課程 2年	日本産カサゴ（条鰭綱スズキ目メバル科）から得られる寄生性カイアシ類（甲殻亜門）の分類学的研究	292,324
204	生物	土田 仁美	名古屋大学大学院生命農学研究科動物科学専攻	博士後期課程 2年	泌乳ラットにおける性腺機能抑制の脳内メカニズムの解明	690,000
205	生物	堀之内 祐介	千葉大学理学研究院	博士研究員	海産緑藻ヒビミドロ目の特異な生活環の種内・種間多様性からその進化機構を探る	640,000
206	生物	奥本 綾華	静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻	修士課程 2年	両生類における新規プロラクチン（PRL1B）の機能解明	0
207	生物	黒田 充樹	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻	博士後期課程 2年	適水温と浸透圧調節に着目したサケ科魚類の越冬回遊動態と冬季生存戦略の解明	850,000
208	生物	畑下 慶紀	早稲田大学大学院先進理工学研究科生命医科学専攻	博士後期課程 2年	経シナプス性ウイルストレーサーを用いたアストロサイトー神経細胞結合マッピング	388,070
209	生物	浦江 壮志	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻	修士課程 2年	藻場に生息する魚類群集の解明とその季節変動	950,000
210	生物	河村 理輝	東京工業大学大学院生命理工学院生命理工学科	博士後期課程 2年	脊椎動物におけるフェロモン受容システムの起源の解明～魚類 V1R 遺伝子の多型は選択的交配に寄与するか？～	597,963
211	生物	谷川 雄哉	関西学院大学大学院理工学部	博士前期課程 2年	HLA-I のフォールディング及びアッセンブリーにおける PDI ファミリーの役割	590,000
212	生物	勝島 日向子	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻生態遺伝学コース	博士前期課程 2年	御蔵島の野生イルカの母子間コミュニケーションにおける化学感覚の役割の解明	800,000
213	生物	鈴木 悠希	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	博士後期課程 3年	磁気ビーズ細胞回収法を核とした長期記憶を制御する時計ニューロン LNds の機能解析	264,088
214	生物	大村 文乃	日本大学芸術学部	研究員	イカ類の捕食戦略を掌部形態から探る～なゼイカ類の掌部は強力かつ瞬時に餌を捕らえることができるのか？～	590,000
215	生物	水谷 雪乃	佐賀大学総合分析実験センター	プロジェクト助教	無菌ノリ創生に向けた、新規ノリ分化誘導細菌の探索およびノリ分化誘導遺伝子群の特定	410,000
216	生物	宮園 健太郎	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	修士課程 2年	長期保管試料に含まれるサルバ類の胃内容物を用いたマイクロプラスチックの海洋汚染過程の復元	168,904
217	生物	日浅 怜子	九州大学大学院生物資源環境科学府生命機能科学専攻	博士後期課程 2年	黄麹菌におけるエンドサイトーシス関連因子 AipA の分子機構解析	500,000
218	生物	武田 精一郎	東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻	博士後期課程 2年	多様な体サイズと生息環境への適応放散を可能にした有蹄動物の指・趾機能の解明	700,000
219	生物	蔡 一涵	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群山岳科学学位プログラム	博士前期課程 2年	日本の森林の二酸化炭素吸収におけるササの役割の解明	708,737
220	生物	佐藤 初	広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻	修士課程 2年	掃除魚に擬態するニセクロシギギンボの卵食における協力行動	700,000
221	生物	森田 航	国立科学博物館人類研究部	研究員	歯の形は何で決まるのか - 食虫類スルクスを使ったそのメカニズムの解明 -	750,000
222	生物	長野 菜穂	九州大学大学院生物資源環境科学府環境農学専攻	修士課程 2年	大気窒素沈着量増加に対するミズナラ蒸散の応答と下層植生の役割	580,000
223	生物	丹伊田 拓磨	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻	博士後期課程 1年	盲目のゴミムシを対象にした感覚受容体と光受容機能に関する研究	467,084
224	生物	井上 侑哉	国立科学博物館植物研究部	研究員	ゲノムワイドな DNA 情報にもとづく野生フキの多様性と栽培フキの起源解明	750,000
225	生物	寺尾 勤太	早稲田大学総合人文科学研究センター	招聘研究員	社会的隔離な環境とその変化が学習機能へ影響する脳メカニズム	700,000
226	生物	鈴木 佑弥	鹿児島大学大学院連合農学研究科農水圏資源環境科学専攻	博士後期課程 1年	カラカラグモ科の分類および網の進化史の解明：洞窟や水面への進出に伴う網の特殊化を探る	700,000

別表（1）2021年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
227	生物	瑤寺 裕	北海道大学大学院農学院農学専攻	博士後期課程2年	食べ物と食べ方を変化させ種多様化する「葉もぐりタマムシ」の分類・系統に関する研究	700,000
228	生物	多田 誠之郎	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	博士後期課程1年	鼻腔構造にもとづく恐竜類における内温性獲得過程の解明	750,000
229	生物	沼澤 佳明奈	帯広畜産大学大学院畜産学研究科	博士前期課程2年	アマミノクロウサギ消化管からの新規繊維分解菌の分離培養	550,000
230	生物	武藤 清明	東北大学大学院農学系研究科生物産業創成科学専攻応用微生物学分野	博士後期課程2年	極限貧栄養環境に棲息する未培養系統群に属する微生物の分離および生態系における役割の解明	642,431
231	生物	TAVARES VASQUES DIEGO	東京大学総合文化研究科	特任講師	コケシノブ科ホソバコケシノブにおける世界規模の系統分類研究	650,000
232	生物	木下 桂	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	博士後期課程1年	寄主を摂食利用する寄生虫は水域生態系の最上位捕食者ではないのか？：琵琶湖魚類寄生虫からの検証	620,000
233	生物	平山 楽	神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻	博士前期課程1年	新規造成スキー場草地での草地植生再生過程における送粉ネットワークの構造および植物の繁殖成功の変化	410,656
234	生物	舟川 一穂	京都大学大学院理学研究科	修士課程2年	安定同位体比分析を用いた個体レベルでのニホンザルの食性分析	370,000
235	生物	松倉 君予	日本大学生物資源科学部森林資源科学科	助教	ツバキ属樹種の花に発生する菌核病菌ツバキキンカクチャワタケの生態的特性	760,000
236	生物	登島 早紀	宮崎大学大学院農学工学総合研究科資源環境科学専攻	博士課程2年	日本および中国に自生する野生種ナワシロイチゴの育種的利用のための分子生態学的解析	800,000
237	生物	嶋本 習介	東京農業大学大学院農学研究科農学専攻	博士後期課程1年	流木が日本の昆虫相に及ぼす影響：多様化と遺伝子流動・攪乱に着目して	630,000
238	生物	遠藤 優	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻	博士後期課程1年	全ゲノム解析によるユーラシア極東地域のヒグマの集団形成史解明	610,000
239	生物	江口 碧	東京都立大学大学院都市環境科学研究科観光科学域	博士前期課程2年	気象データを用いたドリアン豊作の予測	87,125
240	生物	牧野 智久	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	博士後期課程5年	沖縄諸島産ヘリグロヒメトカゲ集団の遺伝子流動に関する研究：島嶼生物地理学における単位の再検討	488,400
241	生物	楠原 弘己	九州大学大学院生物資源環境科学府	博士後期課程2年	水田害虫ツマグロヨコバイの天敵卵寄生蜂に見られる地域性とその要因の解明	488,484
242	生物	長谷川 綾香	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻	博士前期課程2年	都市近郊のホンダヌスキも一夫一妻を保っているのか？	690,000
243	生物	吉野 寿紀	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻	博士後期課程1年	コウモリの意思決定機構の解明：聴覚反応と心拍の同時計測による内的状態の推定	690,000
244	生物	三原 春美	静岡大学大学院総合科学技術研究科農学専攻	修士課程2年	ワサビの品質は「水」で決まるのか？フィールドイオノミクスが解き明かす世界農業遺産	700,000
245	生物	堀田 崇仁	新潟大学大学院自然科学研究科環境科学専攻	博士前期課程1年	ユキツバキの落葉分解過程の解明 - 内生菌の関与と落葉後の菌種間相互作用 -	680,000
246	生物	山崎 海都	鹿児島大学大学院理工学研究科理学専攻	修士課程2年	ラオス南部ボラベン台地におけるキツネノマゴ科イセハナビ属(Strobilanthes)の分類学的研究	343,179
247	生物	小方 昌平	北海道大学大学院国際感染症学院病原制御学分野寄生虫学教室	博士課程4年	二酸化炭素誘引法による日本産マダニ採集への挑戦	650,000
248	生物	塩塚 菜生	奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科自然科学専攻	博士後期課程2年	絶滅危惧種ニホンカワネズミの食性における地域差と季節的变化の解明	624,622
249	生物	増淵 隆仁	水産研究・教育機構水産資源研究所水産資源研究センター底魚資源部	研究員	三重県大内山川に生息するナガレヒキガエル (Bufo torrenticola) の種内-種間競争	661,453
250	生物	茶木 慧太	千葉大学大学院融合理工学府先進理化学専攻生物学コース	博士後期課程2年	菌寄生植物が葉を捨てることに成功した遺伝的背景の解明	262,559
251	生物	平野 尚浩	東北大学東北アジア研究センター	助教	人間環境が取り巻く琵琶湖とその接続水域で生じる遺伝的・形態的多様性創出メカニズムの解明	560,000
252	生物	藤田 早紀	兵庫県立大学兵庫県立大学環境人間学部研究科	客員研究員	樹木根系の新たな評価法の提案：可視-近赤外分光技術を用いた生と死の客観的な判定方法の確立	0
253	生物	茨田 匡	東京都市大学大学院環境情報学部環境情報学専攻	修士課程1年	小型風力発電の稼働による鳥類の飛翔への影響について	650,000
254	生物	轡田 圭又	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群生物資源科学学位プログラム	博士前期課程2年	冠水環境下で生き抜く水草の代謝制御機構の解明	348,123
255	生物	村上 翔大	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	博士後期課程1年	単為生殖化による繁殖干渉の緩和-ヒョウタンゾウムシ属の多種共存メカニズムの解明	420,000

別表（１）２０２１年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
256	生物	湯本 景将	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群生物学学位プログラム	博士後期課程 1年	冷温帯森林性昆虫エゾハルゼミの生息環境も考慮した環境適応動態史の解明：気候変動影響評価に向けて	530,000
257	生物	小井土 凜々子	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群山岳科学学位プログラム	博士前期課程 2年	捕殺がツキノワグマの次世代集団に与える影響の解明～保護管理策の再提案に向けて～	628,225
258	生物	瀬川 太雄	日本大学生物資源科学部獣医学科	助教	イルカ類の胃から分離した新種ウレアプラズマ属細菌の機能解析 ～イルカ類との共生関係の解明を目指して～	700,000
259	生物	海野 奏	富山大学大学院理工学教育部新エネルギー科学専攻	博士課程 1年	カプトガニはどのような「痕」を残すのか？－足跡形成実験から探る行動の進化史－	360,000
260	生物	上野山 怜子	岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻応用生物化学コース	修士課程 2年	マタタビの放出するネコ誘引活性物質ネベタラクトールの環境適応・生理的役割と放出機構の解明	630,000
261	生物	倉澤 央	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生態学研究センター	修士課程 2年	琵琶湖流入河川における、回遊魚類による栄養塩輸送の影響	620,000
262	生物	杉山 宗太郎	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻霊長類学・野生動物系	博士後期課程 1年	霊長類精子形成における味覚シグナルが担う役割の解明	650,000
263	複合	岩波 梨花	岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻動物科学コース	修士課程 2年	慢性腎臓病モデル動物への海産物由来油脂給餌の影響	640,000
264	複合	由利 龍嗣	滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部	特任助教	新規中性脂質酵素蛍光定量法の構築に関する研究	750,000
265	複合	小林 大樹	明治大学大学院農学研究科農学専攻	博士後期課程 2年	土壌の乾燥ひび割れメカニズム解明に関する実験的研究－不均一性の影響とひび割れ発生プロセス－	700,000
266	複合	塚本 雄也	東京大学大気海洋研究所	特任研究員	初期地球模擬環境におけるマンガン酸化菌の多様性－酸素発生型光合成の起源の解明に向けて－	750,000
267	複合	宮本 洋好	高知大学大学院総合人間自然科学研究科農林海洋科学専攻	修士課程 2年	全海洋における硝酸塩濃度の現場分析装置の開発と現場分析方法の確立	770,000
268	複合	土屋 圭輔	昭和大学大学院薬学研究科医薬化学専攻	博士課程 3年	二次構造制御に基づくβ-カテニン/TCF相互作用阻害ペプチドの創製	700,000
269	複合	宮本 大祐	富山大学アイドリング脳科学研究センター	准教授	オール光学式電気生理学による記憶の固定化を担う睡眠脳ダイナミクスの時空間構造の理解	550,000
270	複合	平峰 玲緒奈	東京都立大学大学院都市環境科学研究科地理環境学域	博士後期課程 2年	ジャツキーライズ周辺に分布する軽石の給源推定－漂着軽石を用いた古海流復元に向けて－	910,000
271	複合	高橋 克匡	筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻	博士後期課程 3年	ラットのギャンプル嗜好性の個体差を生み出す神経メカニズムの解明	650,000
272	複合	小川 真由	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻	博士後期課程 1年	海洋騒音の定量化に向けた定点音響モニタリングに基づく沿岸性小型鯨類の音環境選択の推定	600,000
273	複合	佐々木 大	大阪大学大学院生命機能研究科生命機能専攻	一貫制博士課程 5年	経頭蓋直流電気刺激を用いた脳活動増強による即興音楽演奏の評価向上の可能性について	750,000
274	複合	岩田 由香	横浜国立大学大学院医学研究科看護学専攻	博士後期課程 2年	高次脳機能障害者家族介護者におけるエコマッピングを応用したライフチェンジ適応促進プログラムの開発	750,000
275	複合	奥山 加蘭	信州大学大学院教育学研究科	修士課程 2年	隠された地震被害を解き明かす～昭和19年東南海地震における諏訪地域の被害の解明～	750,000
276	複合	山田 洋輔	沖縄科学技術大学院大学	ポストドクトラル研究員	海洋炭素循環を制御する粒子凝集ポテンシャルの定量法開発	807,158
277	複合	桜井 洸	立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科	博士前期課程 2年	等尺性膝関節屈曲トレーニング時の膝関節角度がハムストリングスの筋形状と筋力に及ぼす影響	700,000
278	複合	小間 陸嗣	金沢大学大学院自然科学研究科自然システム学専攻	博士後期課程 1年	ミトコンドリアに内在する酸素結合体の輸送機序の解明：筋細胞独自のミトコンドリア活性化機構	750,000
279	複合	平林 怜	新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科	助教	脊髄のニューロモデュレーションによる相反性抑制増強法の開発	550,000
280	複合	野坂 裕一	東海大学生物学部海洋生物科学科	講師	海水中の微量糖濃度自動分析装置の開発	740,000
281	複合	衣川 哲弘	大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻	博士後期課程 2年	放射線によるがん発生と、寿命短縮の数理モデル	271,859
282	複合	桑田 力真	名古屋工業大学大学院工学部工学研究科	博士後期課程 1年	鳥の羽毛の油吸着メカニズムの解明と再利用可能な油吸着材への応用	750,000
283	複合	岩崎 優	東京家政大学大学院人間生活学総合研究科人間生活学専攻	博士課程 1年	体内酵素による環状ジペプチド生成メカニズムの解明	428,526
284	複合	寺下 葉月	横浜国立大学大学院医学研究科看護学専攻看護生命科学分野	博士前期課程 2年	肥満者に特化した創傷ケアを目指して：皮膚ホメオスタシスに働くトランスポーターAQP3発現量の解析	700,000

別表（１）２０２１年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
285	複合	近藤 直純	北里大学大学院感染制御科学府感染制御科学専攻	博士後期課程 1年	環境負荷を低減する害虫防除技術の創出に向けた、野外酵母からのコナガ産卵誘導物質の探索	750,000
286	複合	柚口 菜津子	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科リハビリテーション学専修	博士前期課程 2年	呼吸シミュレーションモデル開発に向けて胸郭構造と胸郭運動の関連性を解明する	500,000
287	複合	出利葉 拓也	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科	博士後期課程 1年	時系列情報を保持するワーキングメモリを実現する神経振動の検討	750,000
288	複合	高井 優生	九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物科学科	博士後期課程 2年	海産魚類におけるエンドサイトーシスはマイクロプラスチックのベクター効果を増強するか？	660,000
289	複合	中村 夏織	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士後期課程 1年	日本の降水中および大気中のマイクロプラスチックの動態についての研究～海洋環境への供給量の把握～	750,000
290	複合	松本 一樹	東京大学大学院教育学研究科	博士後期課程 4年	生活環境内での芸術作品への接触に伴う認知・感情変化の機序推定：生体計測を用いた長期的モニタリング実験	519,349
291	複合	越後谷 駿	北海道大学大学院生命科学院ソフトマター専攻	博士後期課程 1年	物理学的アプローチで解明する単細胞生物の狭空間センシング ～ラップムシがすみっこに落ち着くワケ～	700,000
292	複合	古賀 達也	京都大学大学院農学研究科森林科学科森林・人間関係学専攻	博士後期課程 1年	ジビエ利用を軸とする地域協働型野生動物管理システム	450,000
293	複合	漆原 由奈	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋資源環境学専攻	修士課程 2年	太平洋およびインド洋におけるトビウオ消化管内のマイクロプラスチックの実態	184,629
294	複合	後藤 哲智	愛媛大学沿岸環境科学研究センター(CMES)	特定研究員	瀬戸内海の魚介類に蓄積するダイオキシン類縁化合物の曝露源解析と水産資源の安全性評価	750,387
295	複合	滝沢 知大	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻	修士課程 2年	褥瘡の不顕性感染を同定するタンパク質マーカーの確立	750,000
296	複合	小長谷 智哉	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	特任研究員	沈み込む太平洋プレート直下の上部マントル希ガス同位体組成の解明	630,000
297	複合	立花 洸季	徳島大学大学院	博士後期課程 2年	HDLのコレステロール引き抜き活性を利用したアテローム性動脈硬化症の新規治療戦略	650,000
298	複合	春井 彩花	神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻	博士後期課程 1年	昆布の血圧上昇抑制効果における腸内細菌の役割－SHRに対する糞便移植の効果－	700,000
299	複合	米野 萌恵	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科リハビリテーション学専修	博士前期課程 2年	アキレス腱断裂縫合術後における運動介入方法の違いが腱癒と筋力回復に及ぼす影響	700,000
300	複合	吉川 万紀	立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科	博士後期課程 5年	トータルアンチエイジングの実現に向けた運動・栄養処方の検討－海の宝「フコキサンチン」に着目して－	560,000
301	複合	ZHANG Xuan	金沢大学大学院医薬保健総合研究科創薬科学専攻	博士後期課程 1年	微環境汚染の測定により中国典型的な都市における住民の大気汚染曝露レベル推測モデルの構築	750,000
302	複合	鈴木 亮晴	信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻ファイバー工学分野	博士後期課程 1年	姿勢制御に対する足底筋群の貢献を詳細に解明する	0
303	複合	吉本 昂希	京都大学大学院生命科学研究所高次生命科学専攻	修士課程 2年	力学刺激が肝臓細胞への分化を促進するメカニズムの解明	700,000
304	複合	大西 陽一	電気通信大学大学院情報理工学研究科機械知能システム学専攻	博士前期課程 2年	深層学習による歩行のキネティクス変量推定法の検討	630,000
						182,047,324

別表（２）２０２１年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）

（単位：円）

No.	助成者名	対象領域	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
1	菊川 裕幸	学芸員・司書等	丹波市立氷上回廊水分れフィールドミュージアム	副館長、学芸員	博物館を核とした博学・農福連携による多世代交流とアウトリーチによる認知症予防プログラムの検証	350,000
2	杉山 立志	学芸員・司書等	東京農業大学農学部植物園	准教授	Google マップを模した果実から組織切片までの自在拡大画像を用いた実習の学習効果	390,000
3	森 俊郎	教員・NPO職員等	岐阜県養老町立笠郷小学校	教諭（教務主任）	エビデンスに基づく学校の合意形成～エビデンス検索ウェブサイトの開発と実践による多忙化解消～	390,000
4	石崎 康子	学芸員・司書等	横浜市歴史博物館	主任学芸員	横浜市歴史博物館所蔵 小宮山博史文庫「活字見本帳」の整理と研究	350,000
5	垣本 嘉人	教員・NPO職員等	NPO九州総合研究所	研究主任	平戸根獅子の活性化	261,877
6	岩田 祐佳梨	教員・NPO職員等	特定非営利活動法人チア・アート	理事長	院内のコミュニケーションを支援するアートプログラムの開発－筑波メディカルセンター病院を事例として－	400,000
7	小河原 孝彦	学芸員・司書等	フォッサマグナミュージアム学芸係	主任主事	特別展「糸魚川の山々」における VR 登山展示の実践～コロナ時代の展示方法の模索～	350,000
8	相田 裕介	教員・NPO職員等	坂東市立南中学校	教諭	中学校理科の地学分野の学習における地層の剥ぎ取り標本を活用した指導方法の開発とその実践	380,000
9	池上 直紀	教員・NPO職員等	津山市立南小学校	教諭	自己肯定感を育む体育授業づくり－ボールゲームにおける消極・回避的行動の解消をめざして－	350,000
10	川瀬 陽子	学芸員・司書等	岐阜県養老町立笠郷小学校	学校司書	デジタルアーカイブ化による学校図書館の学習情報支援センターとしての発展	340,000
11	坂田 尚子	教員・NPO職員等	静岡科学館る・く・る	企画担当	博物館における幼児から小学生へ向けた STEM/STEAM 教育プログラム開発と実践、および実践集作成	289,799
12	姉崎 智子	学芸員・司書等	群馬県立自然史博物館	主幹（学芸員）	Photogrammetry と Soundscape design を用いた体験型コンテンツの開発と実践	90,000
13	池田 一貴	教員・NPO職員等	長野県伊那市立東部中学校	教諭	中学校の地区生徒会活動と家庭学習とをリンクさせた防災教育カリキュラムの開発	145,826
14	山下 義裕	教員・NPO職員等	福井大学繊維・マテリアル研究センター	教員	家庭用洗濯機から脱落した化学繊維くずマイクロファイバーによる海洋汚染防止への取り組み	350,000
15	高橋 律子	教員・NPO職員等	NPO ひいなアクション	代表	子育て中の女性アーティストのライフスタイル研究 アートにおけるジェンダー不均衡の解消に向けて	380,000
16	渋谷 美月	学芸員・司書等	北海道博物館研究部博物館研究グループ/学芸部道民サービスグループ	学芸員	おうちミュージアム・ラボ－ミュージアム同士の協働を促すコミュニティづくり	359,540
17	橋本 裕之	教員・NPO職員等	大阪市立大学都市研究プラザ	特別研究員	岩手県沿岸における被災地芸能の動態保存と転位生成－虎舞の n 次創作にむけて－	380,000
						5,557,042

別表（3）2021年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
1	鳥飼 将雅	東海大学教養学部国際学科	非常勤講師	25th Annual World Convention of the Association for the Study of Nationalities	The Continuity and Change in Elite Compositions in the Regional and Local Levels before and after Euromaidan in Ukraine	16,309
2	森本 拓也	京都府立大学 生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 果樹園芸学研究室	講師	American Society for Horticultural Science Annual Conference	Genetic mapping of a locus controlling the intergeneric hybridization barrier between apple and pear	75,000
3	栗原 美紀	上智大学アジア文化研究所	特別研究員	The 12th International Malaysian Studies Conference (MSC12)	How is “spirituality” in consumer culture accepted in Malaysia?: Insights from a case study of yoga practice	22,000
4	檜谷 昂	東京農業大学 国際食料情報学部	助教	The XXX International Conference on Polyphenols (ICP2021)	Iron solubilization in mangrove sediments associated with leaf-derived polyphenols and benthic animals	40,000
5	松尾 一樹	岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻 合成薬品製造学研究室	博士後期課程3年	The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies	Halogen-bonding-promoted Photoinduced C-X Borylation of Aryl Halide using Phenol Derivateves	15,000
6	前島 咲	岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻 合成薬品製造学研究室	博士後期課程3年	The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies	Development of Regioselective Synthesis Methodologies for C3-Substituted Dihydrobenzofuran Using Visible Light and Boron Lewis Acids	15,000
7	杷野 菜奈美	熊本大学 大学院先端科学研究部（工学系）有機高分子材料分野 超分子化学研究室	産学官連携研究員	The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies	(1) Preparation of amphiphilic monodisperse carbon-like black particles having selective reflectivity for near infrared light (2) Fabrication of carbon-like layer on nanoporous silica surface for ultra-selective adsorption	45,530
8	宋 苑瑞	早稲田大学教育学部	非常勤講師	American Geophysical Union (AGU)	Analysis of virtual water trade in California during recent drought.	56,000
9	武田 充未	岐阜薬科大学大学院合成薬品製造学研究室	博士後期課程1年	The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies	Development of direct amination reaction at $\alpha$ position of carbonyls using iodine	15,000
10	藤川 昂	宮崎大学	博士課程3年	The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies	Direct Electrochemical Detection of Extracellular Electron Transport via OmcZ in Geobacter sulfurreducens by Hydrophobic Screen-Printed Carbon Electrode	46,419
11	久保田 恒喜	山梨大学	博士後期課程4年	The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies	Study on the fluorescence character and its mechanism of NH <sub>4</sub> -form Y-type zeolite	15,041
12	北田 昇雄	電気通信大学	ポスドク研究員	The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies	Innovation of NIR luciferin analogues using firefly bioluminescence for in vivo imaging	47,500
						408,799

別表（４）２０２１年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表

	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題
1	人文・社会	于海春	女	中国	早稲田大学現代政治経済研究所	次席研究員	腐敗問題報道における中国地方紙のメディアフレームの比較分析－計量テキスト分析を中心に－
2	人文・社会	宮本 佳和	女	日本	国立民族学博物館	外来研究員	ナミビア・ヘレロの祖先観念と伝統的権威の祖先の土地返還運動に関する人類学的研究
3	数物・工学	世田 拓也	男	日本	京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻	博士後期課程 2年	リサーチジェンスを用いたアノマリー相殺構造の拡張と応用
4	数物・工学	TANG TAO	男	中国	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科物質創成科学研究領域	博士後期課程 2年	フェムト秒レーザー誘起衝撃力を用いた1細胞物性のオンチップ電気計測手法の開発
5	化学	Kotchakorn T.sriwong	女	タイ	東京工業大学生命理工学院生命理工学院系	博士課程 2年	3Dプリンターとナノテクノロジーを駆使する環境調和型の新規酵素反応システムによる有用物質の合成
6	化学	西野 龍平	男	日本	立教大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程 3年	ベンゼンのケイ素類縁体の合成と性質解明を通じた芳香族性に関する研究
7	生物	荒木 球沙	女	日本	国立感染症研究所寄生動物部	研究員	電子顕微鏡を用いた休眠期マラリア原虫のオルガネラ 3D構造解析
8	生物	土田 仁美	女	日本	名古屋大学大学院生命農学研究科動物科学専攻	博士後期課程 2年	泌乳ラットにおける性腺機能抑制の脳内メカニズムの解明
9	生物	瑤寺 裕	男	日本	北海道大学大学院農学院農学専攻	博士後期課程 2年	食べ物と食べ方を変化させ種多様化する「葉もぐりタマムシ」の分類・系統に関する研究
10	生物	瀬川 太雄	男	日本	日本大学生物資源科学部獣医学科	助教	イルカ類の胃から分離した新種ウレアプラズマ属細菌の機能解析 ～イルカ類との共生関係の解明を目指して～
11	複合	宮本 大祐	男	日本	富山大学アイドリング脳科学研究センター	准教授	オール光学式電気生理学による記憶の固定化を担う睡眠脳ダイナミクスの時空間構造の理解
12	複合	古賀 達也	男	日本	京都大学大学院農学研究科森林科学科森林・人間関係学専攻	博士後期課程 1年	ジビエ利用を軸とする地域協働型野生動物管理システム
13	海洋関連研究	盧 暁鳳	女	中国	東北大学大学院国際文化研究科国際文化研究専攻	博士前期課程 2年	環東シナ海における海域交流としての僧侶の役割
14	海洋関連研究	高井 優生	男	日本	九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物科学科	博士後期課程 2年	海産魚類におけるエンドサイトーシスはマイクロプラスチックのベクター効果を増強するか？
15	実践	岩田 祐佳梨	女	日本	特定非営利活動法人チア・アート	理事長	院内のコミュニケーションを支援するアートプログラムの開発－筑波メディカルセンター病院を事例として－
16	実践	小河原 孝彦	男	日本	フォッサマグナミュージアム学芸係	主任主事	特別展「糸魚川の山々」におけるVR登山展示の実践 ～コロナ時代の展示方法の模索～

別表（５）２０２０年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表

No.	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題
1	人文・社会	浅田 直規	男	日本	筑波大学大学院人文社会科学研究所国際公共政策専攻	博士後期課程 2年	児童福祉における「家族」の成立に関する人類学的研究—ルーマニアの里親制度を事例に—
2	人文・社会	ケイ 光大	男	中国	慶應義塾大学大学院社会学研究科	博士後期課程 3年	宗教と近代体制との相互協調性の比較研究：台湾の「积教」と中国広東省の「香花派」の事例から
3	数物・工学	中村 紗都子	女	日本	名古屋大学宇宙地球環境研究所	特任助教	激甚宇宙天気災害時における地磁気誘導電流の日本電力供給へのリスク評価
4	数物・工学	吉田 圭介	男	日本	立命館大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻物理科学コース	博士前期課程 2年	スナップフィットのメカニクス：弾性、かたち、摩擦が生み出す非接着的かつ分離可能な接合機構
5	化学	藤木 勝将	男	日本	大阪大学大学院理学研究科化学専攻（天然物有機化学研究室）	特任助教	有機トリフルオロボレート触媒によるシリル保護マンノースの位置選択的脱シリル化反応の開発
6	化学	太田 早紀	女	日本	関西大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程 2年	液晶性エポキシ樹脂の配列構造と自由体積の相関性の解明—複合材料の高熱伝導化メカニズムの理解—
7	生物	長澤 竜樹	男	日本	東京工業大学生命理工学院	助教	孵化腺細胞欠損変異体の遺伝子発現解析：胚葉を越えた機能転移はどのようにして起こったか
8	生物	吉竹 悠宇志	男	日本	明治大学農学部生命科学科	助教	リン酸欠乏時における植物の細胞内リサイクル機構（膜脂質転換とオートファジー）の関係性の解明
9	生物	佐藤 初	男	日本	広島大学大学院統合生命科学研究所生物資源科学専攻	博士前期課程 1年	掃除魚に擬態するニセクロスジギソウの繁殖生態と擬態機能解明
10	生物	豊田 有	男	日本	中部大学創発学術院	研究員	ベニガオザルの連合形成機構の解明：協力行動の進化基盤の探索
11	複合	鈴木 里奈	女	日本	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科政策・メディア専攻	修士課程 2年	脳-身体システムと環境のインタラクションによる柔軟な運動制御を「皮質-筋コヒーレンス」から解明する
12	複合	張 露露	女	中国	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻	博士後期課程 3年	海洋由来ジメチルスルフィド共存下における越境輸送多環芳香族炭化水素と黄砂との相互作用に関する研究
13	海洋関連研究	池永 潤平	男	日本	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士課程 2年	ヒモムシ類の受精における種認証システムの解明
14	海洋関連研究	川西 亮太	男	日本	北海道大学大学院地球環境科学研究院	特任助教	太平洋におけるトビウオ寄生性等脚類の多様性と共進化の解明
15	実践	武内 文治	男	日本	奥四万十山の暮らし調査団	代表	住民による小地名の記録と地域資源地図づくり（民衆知の記憶を公共財としての記録へ）
16	実践	倉知 桂子	女	日本	同志社大学人文科学研究科	嘱託研究員	近代蚕業史アーカイブ・モデルの構築 —蚕業関連資料の保存と活用—



別表（6）2021年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表

（単位：冊数）

No.	寄贈対象大学	寄贈実績 (冊)
1	南京大学	118
2	上海交通大学	98
3	雲南大学	1,168
4	広西師範大学	156
5	黒龍江大学	1,198
6	吉林大学	1,026
7	東北師範大学	5,558
8	北華大学	70
9	中国医科大学	231
10	大連外国語大学	811
11	遼寧師範大学	116
12	大連医科大学	208
13	大連海事大学	19
14	瀋陽師範大学	91
15	北京大学	231
16	中国農業大学	47
17	山東大学	65
18	山東大学（威海）	75
19	中国海洋大学	794
20	西安外国語大学	1,818
21	華東師範大学	52
22	上海師範大学	875
23	華東理工大学	574
24	復旦大学	226
25	浙江越秀外国語学院	4,047
26	井岡山大学	1,200
27	中南財經政法大学	382
28	武漢大学	962
29	湖南大学	29
30	雲南民族大学	392
31	湖南科技学院	3,767
32	暨南大学	1,668
33	東北財經大学	1,470
34	南京工業大学	365
35	天津科技大学	740
36	西安翻譯学院	1,354
37	北京外国語大学	423
38	九江学院	767
	合計	33,191

別表（7） 2021年度「READ JAPAN プロジェクト」図書寄贈実績表

（単位：冊数）

No.	寄贈機関名	国／エリア	分類	寄贈実績 (冊)
1	Public Library, Municipality of Elbasan	アルバニア	公立図書館	139
2	Skrapar municipality Library	アルバニア	公立図書館	139
3	University of Chittagong, Department of Political Science	バングラデシュ	大学図書館（専門）	161
4	University of Dhaka, The East Asia Study Center	バングラデシュ	大学図書館（専門）	76
5	National and University Library of Bosnia and Herzegovina	ボスニア・ヘルツェゴビナ	大学図書館（総合）	41
6	University of Banja Luka, Faculty of Natural Sciences and Mathematics	ボスニア・ヘルツェゴビナ	大学図書館（専門）	28
7	Botswana International University Of Science and Technology	ボツワナ	大学図書館（総合）	164
8	Federal University of Pará	ブラジル	大学図書館（総合）	163
9	Rio de Janeiro State University	ブラジル	大学図書館（専門）	130
10	University of Veliko Tarnovo "St. Cyril and St. Methodius"	ブルガリア	大学図書館（専門）	39
11	La Moneda Cultural Center	チリ	公立図書館	88
12	University of Chile, Faculty of Philosophy	チリ	大学図書館（総合）	74
13	University of Cyprus	キプロス	大学図書館（総合）	36
14	Oriental Institute, Czech Academy of Sciences	チェコ	研究機関	160
15	University of the Faroe Islands	デンマーク	大学図書館（総合）	65
16	Saku Municipality Library	エストニア	公立図書館	16
17	University of Tartu	エストニア	大学図書館（総合）	96
18	UOW College Hong Kong	中国香港	大学図書館（総合）	160
19	University of Iceland	アイスランド	大学図書館（総合）	69
20	Goa University	インド	大学図書館（総合）	158
21	Indian Institute of Management Nagpur	インド	大学図書館（総合）	60
22	Jai Hind College	インド	大学図書館（総合）	60
23	S P Mandali Prin. L. N. Welingkar Institute of Management Development and Research	インド	大学図書館（総合）	155
24	Teachers Association of Japanese	インド	私設図書館（会員限定）	80
25	Thakur Institute of Management Studies & Research	インド	研究機関	156
26	The Indo Japanese Association, Mumbai	インド	私設図書館（一般公開）	93
27	Universitas Airlangga, Faculty of Humanities, Department of Japanese Studies	インドネシア	大学図書館（総合）	71
28	Koya University	イラク	大学図書館（総合）	158
29	Bezalel Academy of Arts and Design, Jerusalem	イスラエル	大学図書館（専門）	21
30	Tel-Hai College	イスラエル	大学図書館（総合）	162
31	The Centre for Study and Strategic Analysis	マダガスカル	研究機関	46
32	University of Malawi, Chancellor College	マラウイ	大学図書館（総合）	95
33	University Program of Studies on Asia and Africa, National Autonomous University of Mexico	メキシコ	大学図書館（総合）	161
34	The Academy of Economic Studies	モルドバ	大学図書館（専門）	3

別表（7） 2021年度「READ JAPAN プロジェクト」図書寄贈実績表

（単位：冊数）

No.	寄贈機関名	国／エリア	分類	寄贈実績 (冊)
35	Institute of International Affairs, Mongolian Academy of Sciences	モンゴル	研究機関	32
36	National University of Mongolia	モンゴル	大学図書館（総合）	16
37	Tribhuvan University, Department of International Relations and Diplomacy	ネパール	大学図書館（専門）	70
38	University of Engineering and Technology, Lahore	パキスタン	大学図書館（専門）	98
39	San Marcos National University	ペルー	大学図書館（総合）	107
40	Cebu City Public Library	フィリピン	公立図書館	162
41	Pusan National University	韓国	大学図書館（総合）	158
42	Higher School of Economics National Research University Saint Petersburg	ロシア	大学図書館（専門）	59
43	Sakhalin Regional Universal Scientific Library	ロシア	大学図書館（総合）	55
44	Central European Institute of Asian Studies	スロバキア	研究機関	13
45	Slovak Foreign Policy Association	スロバキア	私設図書館（会員限定）	30
46	The Central Library of the Slovak Academy of Sciences	スロバキア	研究機関	75
47	The Slovak Centre of Scientific and Technical Information	スロバキア	研究機関	27
48	Loyola Andalucia University	スペイン	大学図書館（総合）	161
49	University of Castilla-La Mancha	スペイン	大学図書館（総合）	36
50	The Turkish Japanese Foundation Cultural Center	トルコ	私設図書館（一般公開）	94
51	Institute of International Relations of Taras Shevchenko National University of Kyiv	ウクライナ	大学図書館（総合）	55
52	Ivan Franko National University of Lviv	ウクライナ	大学図書館（専門）	38
53	Universidad ORT Uruguay	ウルグアイ	大学図書館（総合）	25
54	Arkansas Tech University	アメリカ	大学図書館（総合）	159
55	Chattanooga School for the Arts and Sciences	アメリカ	私設図書館（会員限定）	31
56	University of Hawai'i at Mānoa	アメリカ	大学図書館（総合）	20
57	An Giang University(VNU-HCM)	ベトナム	大学図書館（総合）	140
58	Ba Ria-Vung Tau University	ベトナム	大学図書館（総合）	58
59	Ho Chi Minh City Open University	ベトナム	大学図書館（総合）	115
60	Ho Chi Minh City University of Foreign Languages, Information Technology	ベトナム	大学図書館（総合）	67
61	Ho Chi Minh City University of Technology	ベトナム	大学図書館（総合）	152
62	Nha Trang University	ベトナム	大学図書館（総合）	10
63	University of Languages and International Studies, Vietnam National University	ベトナム	大学図書館（総合）	159
64	University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University, Hanoi	ベトナム	大学図書館（専門）	80
合 計				5,625

別表(8) 2021年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表

No.	氏名	学校名	学年	性別	研究テーマ	メンター/アシスタント氏名	所属先
1	植村 ゆり香	Li Po Chun United World College	3年生	女	タンポポのラテックスの抗菌作用	高橋 征司	東北大学
2	二階堂 有希乃	青森県立八戸高等学校	3年生	女	筒内を這い上がる砂のメカニズム	稲垣 紫緒	九州大学
3	裕元 洸樹	東京都立小石川中等教育学校	4年生	男	金銀色の銅樹の作成	箕田 弘喜	東京農工大学
4	玉川 玲奈	東京都立小石川中等教育学校	4年生	女	気体の可視化の研究パートII	野口 尚史	同志社大学
	水谷 紗更		4年生	女			
5	佐藤 優衣	宮城県古川黎明高等学校	3年生	女	回折格子を用いた流星の分光観測	山本 真行	高知工科大学
	加藤 優熙		2年生	男			
	高橋 和希		1年生	男			
6 ※	五條 麟太郎	攻玉社高等学校	2年生	男	温室培養による能見堂緑地を中心とした変形菌相の調査	出川 洋介 吉橋 佑馬	筑波大学
7 ※※	岩佐 茜	群馬工業高等専門学校	2年生	女	固体酸と固体塩基の pH 差を利用した水の低電圧電気分解	八巻 徹也	高崎量子応用研究所
8	青山 庵	安田学園高等学校	1年生	男	クロマルハナバチの二倍体雄の行動特性	淵側 太郎	大阪市立大学
9	安楽岡 将太	聖光学院高等学校	3年生	男	インカメラ後景部における画質改善	高橋 裕樹	電気通信大学
10	久宗 はな	立命館宇治高等学校	3年生	女	PCM (phase-change material) を用いた太陽電池パネルのハイブリッド熱電エネルギー生産システム	脇谷 尚樹	静岡大学
11	白井 智加	茨城県立水戸第二高等学校	2年生	女	Zn 金属葉 ~成膜のコントロールと構造解明~	丸山 智	元 TDK 株式会社
	遠藤 理紗		2年生	女			
12	沢村 紋音	青森県立八戸高等学校	2年生	女	植物由来の天然化合物を用いたリンゴ黒星病防除の可能性	平山 和幸	りんご研究所
	河原木 茉洋		2年生	女			
	野澤 さくら		2年生	女			
13	高森 亜門	國學院大學栃木中学校	2年生	男	葛生と秩父のペルム紀の海の環境推定	上野 勝美	福岡大学
						奥村 よほ子	佐野市葛生化石館
14	小林 麟太郎	兵庫県立小野高等学校	2年生	男	高齢者ドライバー運転支援アプリの開発	和田 正義	東京理科大学
15	小野 航平	慶應義塾高等学校	2年生	男	科学的根拠に基づくインソール開発	赤木 亮太	芝浦工業大学
					Myoware マッスルセンサを用いたロボットハンド製作及びその日常での用途の模索	牛場 潤一	慶應義塾大学
16	小川 友希	東京都立立川国際中等教育学校	1年生	女	ワサビノキ種子の浄化作用	齋藤 敦子	東邦大学
						村本 哲哉	
						大坂 雄一郎	
	22名	14校			17研究	メンター：19名、アシスタント：2名	

※特別賞受賞研究

※※優秀賞受賞研究

## 別表（9）役員名簿

（2022年3月31日現在）

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
会長	非常勤	高橋 正征	2020年 6月30日	業務の議決 ・執行等	東京大学名誉教授 高知大学名誉教授 (生態学)
常務理事	常勤	石倉 康弘	2018年 6月15日	会長補佐 日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
同	同	佐々木 文君	2017年 6月28日	日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
理事	非常勤	川口 春馬	2012年 4月1日	業務の議決・執行等	慶應義塾大学名誉教授 (工学、応用化学、高分子合成)
同	同	木村 龍治	同	同	東京大学名誉教授 (気象、海洋、陸水学)
同	同	和崎 春日	同	同	中部大学名誉教授 京都精華大学アフリカ・アジア現代文化研究センター客員教授 (文化人類学)
同	同	室伏 きみ子	2020年 6月30日	同	お茶の水女子大学名誉教授 (細胞生物学、生化学、科学教育)
同	同	渡邊 雄一郎	同	同	東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系教授 (生物学・分子生物学、農学・植物病理学)
監事	非常勤	菅井 明則	2016年 6月10日	業務執行等の監査	(公財)笹川平和財団常務理事
同	同	馬目 利昭	2020年 6月30日	同	馬目公認会計士事務所代表

## 別表（10）評議員名簿

（2022年3月31日現在）

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
評議員	非常勤	門野 泉	2012年 4月1日	決算の承認等	清泉女子大学名誉教授 (公財)東京財団政策研究所理事長 (英国ルネッサンス演劇、比較演劇学)
同	同	西原 祥子	2016年 6月10日	同	創価大学糖鎖生命システム融合研究所所長・教授 (糖鎖生物学)
同	同	前野 隆司	同	同	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 (システムデザイン・マネジメント、ロボティクス、幸福学、感動学、協創学等)
同	同	前田 晃	2017年 11月14日	同	(公財)日本財団専務理事
同	同	境 浩光	2020年6月 30日	同	(株)科学新聞社代表取締役
同	同	竹本 和彦	同	同	(一社)海外環境協力センター理事長 東京大学未来ビジョン研究センター特任教授
同	同	中村 和生	同	同	北里大学名誉教授 (生化学)
同	同	山崎 壮	同	同	実践女子大学生活科学部食生活科学科教授 (食品衛生学、食品学、天然物化学)

2021年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

前記のとおり相違ありません。

2022年 5月13日

公益財団法人 日本科学協会

代表理事（会長） 高橋 正 征

2021年度事業報告書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2022年 5月17日

公益財団法人 日本科学協会

監 事 菅 井 明 則 印

監 事 馬 目 利 昭 印



